

平成5年度版

数字で見る図書館活動

調布市立図書館

図書館の自由に関する宣言

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすために、図書館は、次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

社団法人 日本図書館協会

(1979年5月30日総会決議<改訂>主文)

図書館員の倫理綱領

この倫理綱領は、「図書館の自由に関する宣言」によって示された図書館の社会的責任を自覚し、自らの職責を遂行していくための図書館員としての自立的規範である。

(図書館員の基本的態度)

第1 図書館員は、社会の期待と利用者の要求を基本的なよりどころとして職務を遂行する。

(利用者に対する責任)

- 第2 図書館員は利用者を差別しない。
- 第3 図書館員は利用者の秘密を漏らさない。

(資料に関する責任)

- 第4 図書館員は図書館の自由を守り、資料の収集、保存および提供につとめる。
- 第5 図書館員は常に資料を知ることにつとめる。

(研修につとめる責任)

第6 図書館員は個人的、集団的に、不断の研修につとめる。

第7 図書館員は、自館の運営方針や奉仕計画の策定に積極的に参画する。

第8 図書館員は、相互の協力を密にして、集団としての専門的能力の向上に努める。

第9 図書館員は、図書館奉仕のために適正な労働条件の確保につとめる。

(図書館間の協力)

第10 図書館員は図書館間の理解と協力につとめる。

(文化創造への寄与)

第11 図書館員は住民や他団体とも協力して、社会の文化環境の醸成につとめる。

第12 図書館員は、読者の立場にたって出版文化の発展に寄与するようつとめる。

日本図書館協会は、わが国の図書館の現状にかんがみこの倫理綱領を作成し、提唱する。本協会はこの綱領の維持発展につとめると共に、この綱領と相いれない事態に対しては、その改善に向かって不断に努力する。

社団法人 日本図書館協会

(1980年6月4日総会決議)

平成5年度版

数字で見る図書館活動

目次

I 調布市の概況	1
1 人口	1
2 予算	3
II 図書館の概況	5
1 運営方針	5
2 平成5年度 図書館活動	6
3 図書館配置図	8
4 施設概況	9
III 各館の概要	10
IV 各館の事業	14
1 子ども対象の事業	14
2 成人対象の事業	17
V 蔵書の状況	18
VI 利用の状況	22
1 登録	22
2 貸出	25
3 予約・リクエスト	27
4 活動実績	28
VII ハンディキャップサービス	29
1 朗読サービス	29
2 点訳サービス	32
3 大型活字本・拡大写本サービス	32
4 子どもへのサービス	32
5 PR活動	33
6 ボランティアの養成とボランティアグループ	33
VIII 集会・学習活動	34
1 集会・学習活動の状況	34
2 行事	34
3 図書館まつり	35
4 その他の事業	37
5 育成サークル	37
IX 視聴覚ライブラリー	41
1 事業	41
2 視聴覚教材・機材の利用状況	41
X 将来計画と新中央図書館構想	45
XI 資料	49
1 運営組織	49
2 分掌事務	49
3 開館日と休館日	50
4 開館日数	50
5 開館時間	51
6 組織図	51
7 年度別職員数の推移	52
XII 年表	53

I 調布市の概況

昭和30年、調布町と神代町が合併して調布市が誕生した。

この地域では、多摩川の清流を利用して、昔から布づくりが盛んに行われていた。この布は税である調として、朝廷に納められ、調布（たつくり）の名で呼ばれた。調布の名称はこのように布の産地であったことと、律令制度による調として布が納められたことに由来している。

調布市は、東京都のほぼ中央部、多摩地区の南東部に位置し、都心部へ約24kmの距離にある。市域の広がり、東西7km、南北5.7km、面積21.53km²で、東京都全体の約1%に当たる。市の東西方向には京王線と甲州街道が走り、ほぼ北東から西南にかけては中央自動車道が横断している。副都心新宿へも、東へ15km、京王線の特急で15分という典型的な近郊住宅都市である。

地形は、北に向かって高台となる段丘で、武蔵野台地と立川台地に広がっている。土地の高度は神代植物公園北方の台地が最も高く海拔57m、南の多摩川沿いの染地が最も低く、海拔24mとなっている。



1 人口

平成6年1月1日現在、調布市には192,868人が住み、人口密度8,958人/km²で過密状態である。増減を見ると、近年はほとんど自然増だけで横ばい状態であるが、転入転出が激しく、5年度は合わせて年間34,436件にも達していて転出の方が1,830件多く、結果として人口が前年に比較して減少した。また、年齢別の人口構成は、0歳から64歳までは減少しているが、65歳以上の人口は、着実に増加している。平成6年1月1日現在、65歳以上の人は20,591人で総人口の10.7%に達しており、調布市も高齢社会への移行が着実に進んでいる。

調布市の人口推移表

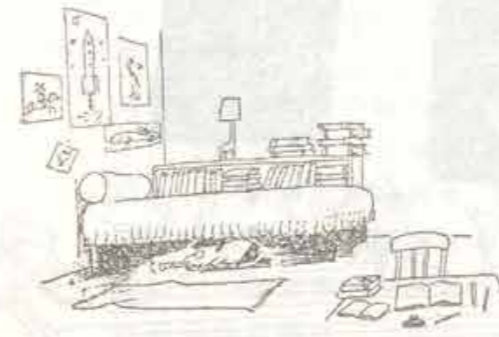
(数値は1月1日現在)

	男	女	合計
S30	22,755	22,335	45,090
35	32,385	31,910	64,295
40	52,736	50,247	102,983
45	78,250	75,259	153,509
50	87,684	82,922	170,606
55	89,655	85,035	174,690
60	94,914	89,339	184,253
H 2	98,678	93,031	191,709
3	98,584	93,434	192,018
4	98,960	94,078	193,038
5	99,115	94,532	193,647
6	98,370	94,498	192,868

町別人口

(H 6. 1. 1現在)

町名	人口
飛田給(飛木・西町を含む)	6,709
上石原	8,163
下石原	8,130
多摩川	11,441
富士見町	9,481
小島町	8,145
布田	9,570
調布ヶ丘	6,725
国領町	20,099
八雲台	2,775
染地	14,907
深大寺元町	4,663
深大寺北町	6,039
深大寺東町	9,737
深大寺南町	3,122
佐須町	4,913
柴崎	7,017
入間町	7,158
東つつじヶ丘	4,831
西つつじヶ丘	13,664
若葉町	5,374
仙川町	5,026
緑ヶ丘	7,702
菊野台	7,477
合計	192,868



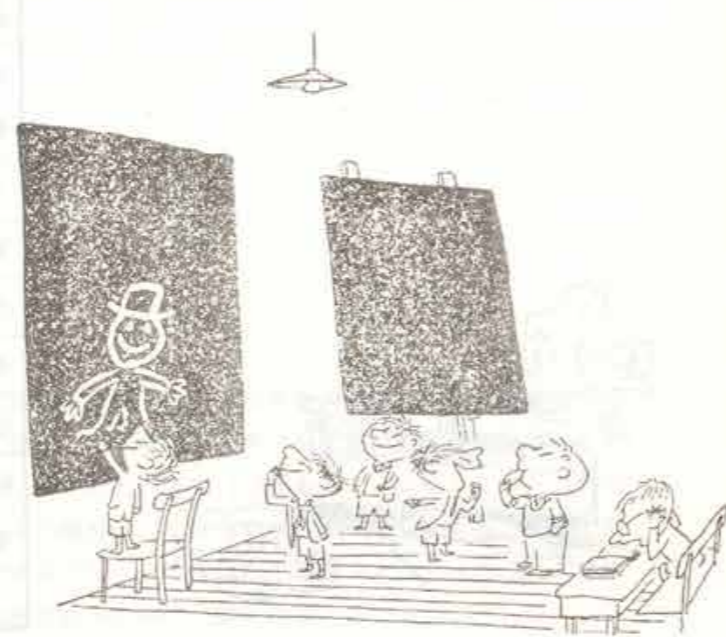
2 予算

調布市は、平成2年度からスタートした基本計画に基づき、3つの「み（みち・みどり・ごみ）」を計画事業の中心として、自然と歴史に恵まれた環境整備・都市基盤を基調とし、さらに高齢化社会を展望した福祉、調布らしさを育む教育・文化・産業などを引続き重点施策の基本としている。

図書館費について見ると、平成5年度決算額は3億3,753万円で前年度に比べて840万円減額となっている。また平成6年度当初予算額は3億6,362万円で前年度に比べて512万円増額となっている。

なお、平成6年度の主要事業として、全館で46,000冊、新中央館用として別に36,000冊を購入し、市民の教養、調査研究、レクリエーションなどの要望に応えられるよう、新鮮で充実した蔵書を提供していく。新中央館用として購入冊数が多いのは、開館前年ということで文庫を中心とした購入計画があるためである。

年度	市費総額	教育費	図書館費	図書館購入費
昭和40年度	60,572,820	10,089,005	410,062	883
昭和41年度	69,627,642	9,965,504	345,933	676
昭和42年度	69,772,410	10,326,155	337,525	646



年度別決算額の推移

(単位：千円)

科目	年度	S 4	H 3	H 4	H 5
市費総額		1,721,605,728,820	69,627,642	69,772,410	
指数			2.869	3.298	3.304
教育費		461,008,900,005	9,965,504	10,326,155	
指数			2.076	2.050	2.124
市費に占める割合			16.7%	14.4%	14.8%
図書館費		141,410,062	345,933	337,525	
(図書費)			170,467	130,995	124,528
(建設費)		10,000,000	0	0	0
(その他)			239,595	214,938	212,997
指数			6.934	5.849	5.707
市費に占める割合			0.7%	0.5%	0.5%
教育費に占める割合			4.1%	3.5%	3.3%
人口		111,193,038	193,647	192,868	
指数			146	146	146
人口一人当たり					(単位：円)
市費		1,313,787	359,560	361,763	
教育費		52,264	51,463	53,540	
図書館費		2,124	1,786	1,750	
図書購入費		883	676	646	

(単位：円)

書籍平均単価	2,911	3,099	3,050
市書籍平均単価	2,189	2,276	1,903

- ・図書館費に職員の給与等
- ・人口は毎年1月1日現在
- ・昭和40、41年度は開館前
- ・昭和44年度国領分館開館 昭和49年度富士見・緑ヶ丘分館開館、昭和50年度若葉分館開館
- ・書籍平均単価は「出版年

年度別決算額の推移

(単位：千円)

科目	年度	S 4 0	S 4 1	S 4 6	S 5 1	S 5 6	S 6 1	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5
市費総額		1,729,966	2,111,464	7,675,139	18,127,507	30,229,207	37,656,662	52,555,125	55,994,720	60,572,820	69,627,642	69,772,410
指数			100	364	859	1,432	1,783	2,489	2,652	2,869	3,298	3,304
教育費		468,770	486,168	1,915,687	4,196,469	6,195,692	5,948,019	6,718,605	7,603,677	10,089,005	9,965,504	10,326,155
指数			100	394	863	1,274	1,223	1,382	1,564	2,076	2,050	2,124
市費に占める割合			23.0%	25.0%	23.1%	20.5%	15.8%	12.8%	13.6%	16.7%	14.4%	14.8%
図書館費		18,960	5,914	45,273	53,696	275,630	178,534	337,973	511,108	410,062	345,933	337,525
(図書費)			2,044	12,030	17,578	58,291	73,139	117,640	150,235	170,467	130,995	124,528
(建設費)		17,348	0	17,800	0	151,548	0	0	0	0	0	0
(その他)			3,870	15,443	36,118	65,791	105,395	220,333	360,873	239,595	214,938	212,997
指数			100	766	908	4,661	3,019	5,715	8,642	6,934	5,849	5,707
市費に占める割合			0.3%	0.6%	0.3%	0.9%	0.5%	0.6%	1.0%	0.7%	0.5%	0.5%
教育費に占める割合			1.0%	2.4%	1.3%	4.4%	3.0%	5.0%	6.4%	4.1%	3.5%	3.3%
人口		119,644	132,458	159,026	171,432	178,814	189,747	191,709	192,018	193,038	193,647	192,868
指数			100	120	129	135	143	145	145	146	146	146
人口一人当り	市費	14,459	15,940	48,263	105,742	169,054	198,457	274,140	291,611	313,787	359,560	361,763
	教育費	3,918	3,670	12,046	24,479	34,649	31,347	35,046	39,599	52,264	51,463	53,540
	図書館費	158	45	285	313	1,541	941	1,763	2,662	2,124	1,786	1,750
	図書購入費		15	76	103	326	385	614	782	883	676	646

(単位：円)

書籍平均単価			855	1,198	2,301	2,754	2,521	2,609	2,764	2,911	3,099	3,050
市書籍平均単価			1,212	808	1,046	1,315	2,002	1,933	1,931	2,189	2,276	1,903

- ・図書館費に職員の給与等人件費は含まれていない。
- ・人口は毎年1月1日現在
- ・昭和40、41年度は開館準備年度と開館年度に当たる。
- ・昭和44年度国領分館開館、昭和45年度つつじヶ丘分館開館、昭和46年度深大寺・神代分館開館、昭和47年度宮の下分館開館、昭和49年度富士見・緑ヶ丘分館開館、昭和50年度若葉分館開館、昭和55年度染地分館開館、昭和57年度佐須分館開館。
- ・書籍平均単価は『出版年鑑』（出版ニュース社）による。

II 図書館の概況

調布市立図書館は、昭和41年に開館して以来、資料の提供と各種事業の実施によって、図書館活動の充実を図ってきた。

また、身近な生涯学習の場として、分館の整備にも取り組み、人口2万人に1館、半径800メートルに1館、2つの小学校区に1館を三原則として、現在、中央館を中心にして10分館が活動を行っている。

調布市立図書館網の中核機関として建設が計画されている新中央図書館は、市民からの要望も多く、平成7年度完成を目指して準備が進められている。

1 運営方針

図書館は、調布市基本計画の理念に基づき、社会の変化に応えるため、市民の生涯学習を支える社会教育活動を目指して、次の基本的な運営方針を設定している。

- (1) 市民の本棚として、気軽に立ち寄れる図書館づくりを目指し、自由に図書館サービスが受けられるように、その内容を充実していく。
- (2) 市民の要求を的確に受けとめると同時に、21世紀に向けて、積極的な図書館活動を目指す。
- (3) 子どもにより読書環境を提供するため、各館に独立した児童室を設けるとともに、あらゆる機会をとらえて児童に対するサービスを実施する。
- (4) 市民の身近なところで文化的事業を開催し、図書館資料の活用の拡大を図る。
- (5) 市民に対して充実した図書館サービスを保障するため、種々の機会をとらえて組織的に研修を行い、職員の能力の向上を図る。

以上の基本的な運営方針のもとに、図書館は、多様化し、質的に高度化する市民要求に即応できるサービスを実施する。また、地域における市民の自立した学習活動を積極的に援助するとともに、今日までの活動を基盤としてさらに努力を重ね、新しい時代にふさわしい図書館活動を実施する。

2 平成5年度図書館活動

(1) 重点事業

ア 蔵書の充実

中央館を含む11館がそれぞれ購入計画を立て、各館の規模や地域の要望に応じて、次の点に留意しながら図書を選択し収集した。

- (ア) 新刊書を中心に、市民のニーズに適応した図書の選択と収集
- (イ) 参考図書、各分野における専門的資料の収集
- (ウ) 郷土資料、行政資料の収集
- (エ) 映画関係資料の収集
- (オ) シリーズもの及び定評のある基本的図書を中心とした新中央図書館用図書の収集

イ 図書館業務の電算システム化

貸出・返却作業、資料管理等について、大量のデータを迅速に処理することにより図書館サービスを向上させるため、平成3年度から、中央館及び染地・佐須両分館で稼働したのを始め、年次計画に基づき順次電算化を進め平成5年度完成した。

- (ア) 7月から、深大寺・神代・富士見分館の資料電算管理稼働
- (イ) つつじヶ丘・緑ヶ丘分館の図書データ作成
- (ウ) 10月から、つつじヶ丘・緑ヶ丘分館の資料電算管理稼働

ウ 文化的事業の推進とサークル育成

図書館活動を市民と連帯した活動にするため、読書啓蒙活動を行うとともに、市民の学習活動を奨励するため、次の事業を実施した。

- (ア) 講演会、講座等を中心とした文化的事業
- (イ) 地域における読書会、文化活動の奨励と育成
- (ウ) 調布ブッククラブを中心とした市民団体及びサークルへの奨励
- (エ) 秋の図書館まつり・第22回図書館まつり

エ ハンディキャップサービスの充実

当面は視覚障害者に対するサービスに重点を置き、ボランティアの養成に取り組みつつ、朗読テープの作成、対面朗読、点訳サービス等を行い、視覚障害者の読書権の保障を確立してゆくため、次の事業を行った。

- (ア) 初級朗読ボランティア養成講座
- (イ) 関係資料（録音図書、大型活字本等）の収集・整備
- (ウ) 図書館利用に障害を持つ人びととの情報交換

オ 視聴覚ライブラリーの充実

集団学習をより効果的に推進するために視聴覚機器及び教材を整備するとともに、視聴覚教育活動の普及を図るため、次の事業を行った。

- (ア) 地域における映画会等への奨励・協力
- (イ) 視聴覚機器類の利用指導
- (ウ) 16ミリ発声映写機操作認定講習会の開催
- (エ) 16ミリ発声映写機検定の実施

(2) 日常的業務

今日までの経験と蓄積を基盤にして、日常活動の充実とその将来への発展を図るため、次の事業を実施した。

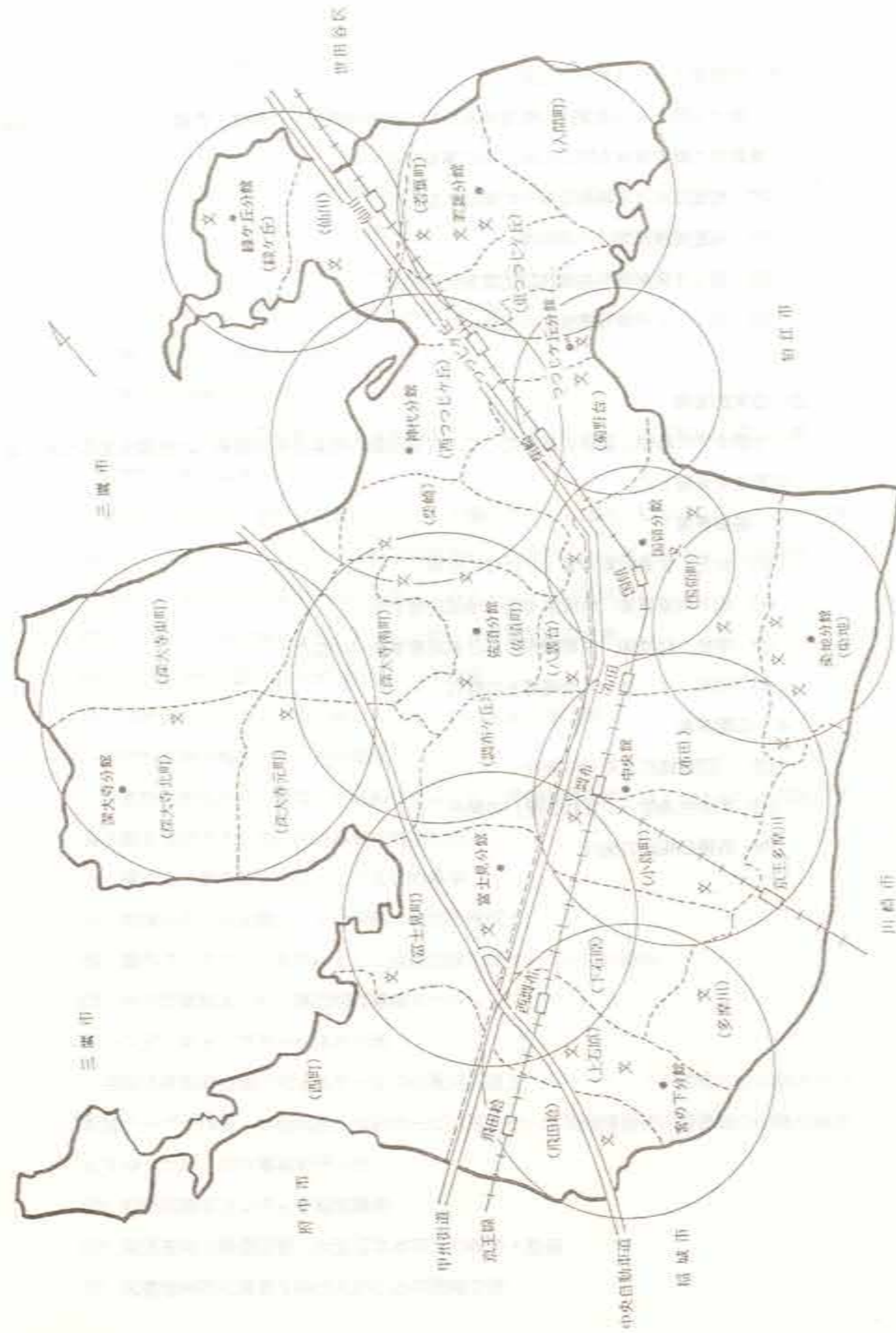
ア 各館事業

- (ア) 幼児、児童対象事業（おはなし会等）
- (イ) 成人対象事業（地域講演会、地域読書会等）
- (ウ) 学校、幼稚園、保育園等における読書事業への協力
- (エ) 団体、サークル等他機関との協力

イ 広報事業

- (ア) 「図書館だより」の発行
- (イ) 中学生通信「ぶちねこ便」の発行
- (ウ) 各種広報誌の発行

3 図書館配置図



4 施設概況

平成6年3月31日現在

区分	館別	中央	染地分館	佐須分館	資料保存庫
竣工年月日		41. .	55. 5. 19	57. 3. 31	60. 3. 15
開館日		41. 1	55. 6. 6	57. 7. 13	60. 4. 1
建設費(千円)		17.	東京都負担	143,651	45,000
敷地面積(m ²)			1,644	2,166	1,072
土地購入費(千円)		市有	借地	92,867	借地
建構物	構造	鉄筋2	鉄筋コンクリート 3階建1階部分 地域福祉センター 兼倉庫を併設	鉄筋の階上	鉄骨平家
の造	併設・単独	単		児童館併設	単
設計事務所		和設計事	都市建築 計画センター	相和 技術研究所	杉原 設計事務所
工事請負会社		石原	藤田建設	東海建設	久保工務店
所在地		布丘 41	染地 3-3-1	佐須町 4-42-2	上石原 2-7-6
電話		81-1	88-8393	85-1306	87-2660
床面積(m ²)		61	369 298(専) 71(兼)	605	485
改修年月日		63. .	63. 3. 1	63. 3. 1	
職員(司書)		15	3(3)	3(3)	3(3)
蔵書能力(冊)		55.	40,000	開架36,000 閉架50,000	200,000
施設の概況	一般室	230	153 m ²	245 m ²	電動式書架室 260 m ²
	児童室	63	105 m ²	80 m ²	
	集会室	なし	なし	なし	
	成人用座席	6	12	24	固定式書架室 200 m ²
	児童用座席	1	12	12	
	おはなし室	なし	なし	25 m ²	

(専) 専用部分

4 施設概況

平成6年3月31日現在

区分	館別	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	資料保存庫
竣工年月日		41. 3.31	44. 3.31	45. 3.28	46. 2.28	46. 3.31	47. 3.31	49. 3.31	49. 3.31	50. 3.31	55. 5.19	57. 3.31	60. 3.15
開館日		41. 6.10	44. 8.14	45. 7.20	46. 7.24	46.10. 1	47. 7.24	49. 7.20	49. 7.20	児童室50.4.12 成人室50.7.5	55. 6. 6	57. 7.13	60. 4. 1
建設費(千円)		17,348	9,120	3,774	13,800	17,080	18,000	30,190	30,798	77,654	東京都負担	143,651	45,000
敷地面積(㎡)		585	1,544	270	824	1,986	1,780	800	1,524	879	1,644	2,166	1,072
土地購入費(千円)		市有地	53,100	借地	27,497	84,000	80,000	借地	162,000	市有地	借地	92,867	借地
建物の造り	構造	鉄筋2階建	鉄筋の階上	コンクリートブロック	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋の階上	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋コンクリート2階建	鉄筋コンクリート3階建1階部分	鉄筋の階上	鉄骨平家
	併設・単独	単	保育園併設	単	単	保育園併設	保育園併設	単	保育園併設	単	地域福祉センター基住を併設	児童館併設	単
設計事務所		和設計事務所	桜井設計事務所	和設計事務所	桜井設計事務所	桜井設計事務所	葵建築研究所	つかさ設計事務所	葵建築研究所	和設計事務所	都市建築計画センター	相和技術研究所	杉原設計事務所
工事請負会社		石原建設	高尾建設	内村建設	増岡建設	増岡建設	白石建設	田辺工務店	山口組	大栄建設	藤田建設	東海建設	久保工務店
所在地		布田 4-17-5	国領町 3-12-1	つつじヶ丘 4-23-6	深大寺北町 5-6-1	つつじヶ丘 1-40-5	上石原 3-34-10	緑ヶ丘 2-25	富士見町 2-3-26	若葉町 3-16-13	染地 3-3-1	佐須町 4-42-2	上石原 2-7-6
電話		81-7661	84-2000	85-2000	85-3350	85-0054	86-5798	3300-7672	81-7664	3309-3411	88-8393	85-1306	87-2660
床面積(㎡)		626	324	114	257	364	342	288	334	516	369 ^{298(専)} 71(共)	605	485
改修年月日		63. 3. 1	2.11.30	63. 3. 1	63. 8. 1	63.12.28	63. 8. 1	2. 7.31	2. 3.22	1. 7.31	63. 3. 1	63. 3. 1	
職員(司書)		15(7)	3(3)	2(2)	3(3)	3(3)	3(3)	3(3)	3(3)	5(5)	3(3)	3(3)	3(3)
蔵書能力(冊)		55,000	37,000	18,000	32,000	33,000	31,000	33,000	33,000	44,000	40,000	開架36,000 閉架50,000	200,000
施設の概況	一般室	230㎡	175㎡	26㎡	90㎡	140㎡	130㎡	120㎡	136㎡	173㎡	153㎡	245㎡	電動式書架室 260㎡
	児童室	63㎡	91㎡	52㎡	63㎡	68㎡	56㎡	64㎡	56㎡	123㎡	105㎡	80㎡	
	集会室	なし	なし	なし	28㎡	34㎡	45㎡	なし	63㎡	51㎡	なし	なし	
	成人用座席	67	40	3	12	24	12	20	12	36	12	24	固定式書架室 200㎡
	児童用座席	14	23	18	16	21	20	17	24	24	12	12	
おはなし室	なし	20㎡	なし	なし	25㎡	18㎡	20㎡	なし	32㎡	なし	25㎡		

(専) 専用部分

(共) 共用部分

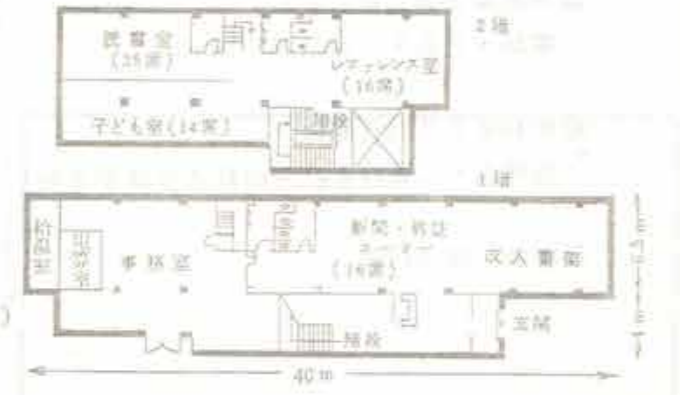
III 各館の概要

1 中央館

調布市布田4-17-5
電話 0424-81-7661
FAX 0424-81-7665

昭和41年6月10日開館
(京王線調布駅より徒歩2分)

蔵書数 275,461冊
(平成6年3月31日現在 以下同じ)

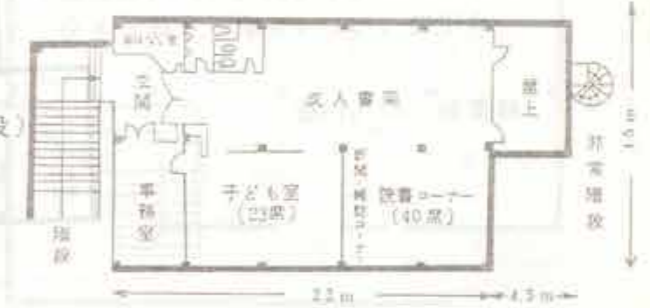


2 国領分館

調布市国領町3-12-1
電話・FAX 0424-84-2000

昭和44年8月14日開館(保育園併設)
(京王線国領駅より徒歩3分)

蔵書数 40,716冊

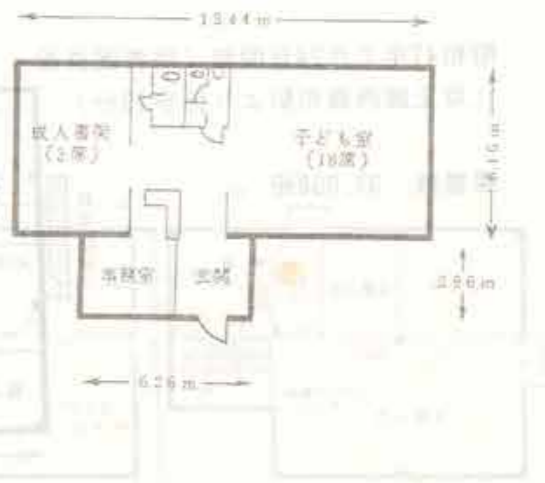


3 つつじヶ丘分館

調布市西つつじヶ丘4-23-6
電話・FAX 0424-85-2000

昭和45年7月20日開館
(京王線つつじヶ丘駅より徒歩10分)

蔵書数 19,713冊

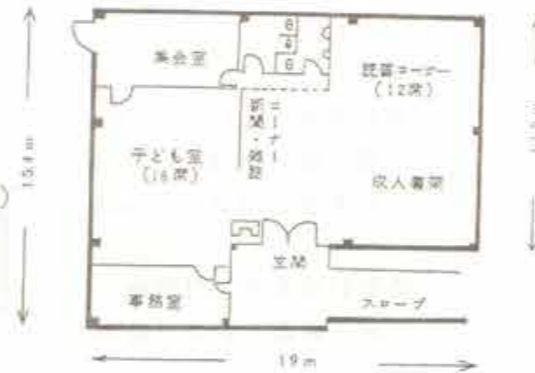


4 深大寺分館

調布市深大寺北町5-6-1
電話・FAX 0424-85-3350

昭和46年7月24日開館
(吉祥寺・三鷹行きバス山野より徒歩8分)

蔵書数 36,043冊



5 神代分館

調布市西つつじヶ丘1-40-5
電話・FAX 0424-85-0054

昭和46年10月1日開館 (保育園併設)
(京王線つつじヶ丘駅より徒歩8分)

蔵書数 37,613冊

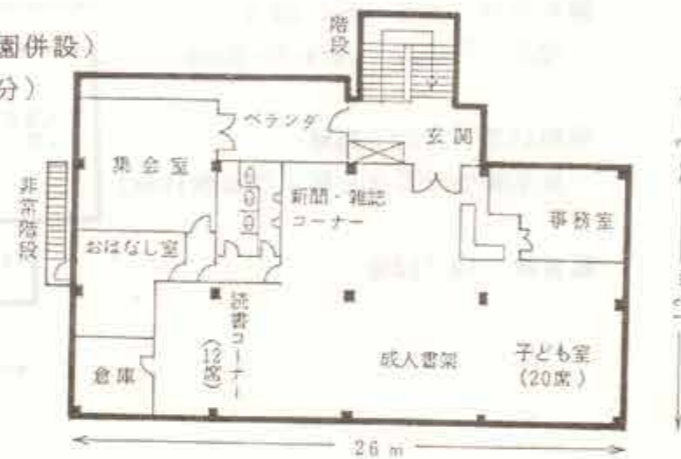


6 宮の下分館

調布市上石原3-34-10
電話・FAX 0424-86-5798

昭和47年7月24日開館 (保育園併設)
(京王線西調布駅より徒歩15分)

蔵書数 37,658冊

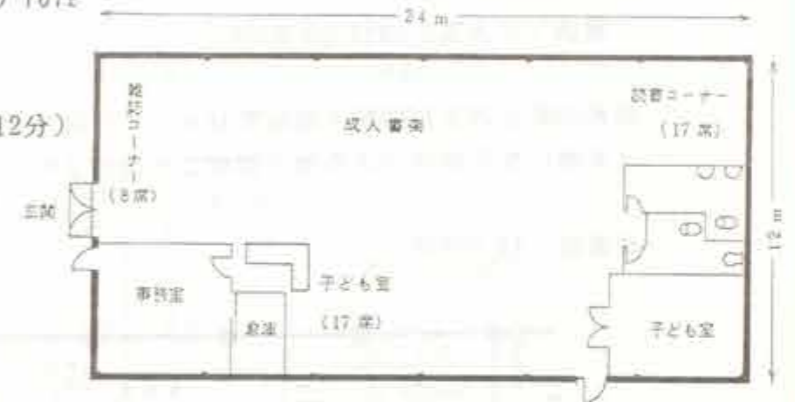


7 緑ヶ丘分館

調布市緑ヶ丘2-25
電話・FAX 03-3300-7672

昭和49年7月20日開館
(京王線仙川駅より徒歩12分)

蔵書数 34,776冊



8 富士見分館

調布市富士見町2-3-26
電話・FAX 0424-71-7664

昭和49年7月20日開館 (保育園併設)
(京王線調布駅より徒歩15分)

蔵書数 41,331冊



9 若葉分館

調布市若葉町3-16-13
電話・FAX 03-3309-3411

昭和50年4月12日 (児童室)
7月5日 (成人室) 開館
(京王線仙川駅より徒歩12分)

蔵書数 45,675冊



10 染地分館

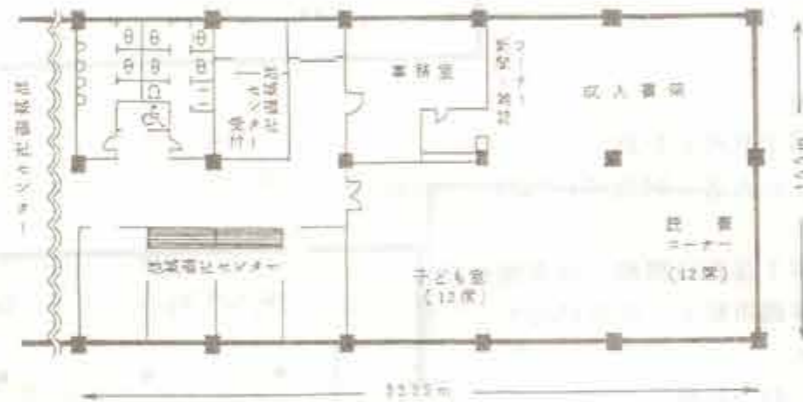
調布市染地3-3-1

電話・FAX 0424-88-8393

昭和55年6月6日開館（地域福祉センター併設）

（多摩川住宅西行バス染地公園前より徒歩3分）

蔵書数 44,668冊



11 佐須分館

調布市佐須町4-42-2

電話・FAX 0424-85-1306

昭和57年7月13日開館（児童館併設）

（京王線布田駅より徒歩15分）

蔵書数 42,420冊



IV 各館の事業

1 子ども対象の事業

(1) おはなし会

幼児から小学生を対象に、ストーリーテリング、絵本の読み聞かせ、紙芝居、スライド、16ミリフィルム等を組み合わせたプログラムを用意し、楽しいお話の世界へ導くことを目的として実施した。定例日の他に、夏休み、クリスマス等に特別おはなし会を実施した館もある。

実施館	日時	参加人数
中央館	第2・4水曜日 3:00~3:30 (幼児・小学生)	246人
国領分館	毎週水曜日 3:00~3:30 (幼児・小学生)	353人
つつじヶ丘分館	第2日曜日 10:00~10:30 (幼児・小学生)	67人
深大寺分館	毎週木曜日 3:00~3:30 (幼児) 第1・3木曜日 3:30~4:00 (小学生)	326人
神代分館	第1・3水曜日 3:00~3:30 (幼児) 第2・4水曜日 3:00~3:30 (小学生) 第5水曜日 3:00~3:30 (幼児・小学生)	437人

実施館	日時	参加人数
宮の下分館	第1~3水曜日 3:00~3:30 (幼児) 3:30~4:00 (小学生)	844人
緑ヶ丘分館	毎週水曜日 3:00~3:30 (幼児・小学生)	296人
富士見分館	毎週水曜日 2:30~3:00 (幼児) 第1・3水曜日 3:00~3:30 (小学生)	512人
若葉分館	毎週火曜日 3:00~3:30 (小学生) 毎週木曜日 3:00~3:30 (幼児)	1440人
染地分館	第2・4水曜日 3:00~3:30 (幼児) 3:30~4:00 (小学生)	680人
佐須分館	毎週水曜日 2:30~2:50 (幼児) 第1・3水曜日 3:30~3:50 (小学生)	680人

○参加人数は、年間延べ参加人数。

(2) 小学生読書会

小学校4年生から6年生までを対象に、幅広く本の世界の楽しさを知ってもらうために実施した。下記のテーマで、本の紹介やブックトークを中心に行った。
(毎月第1日曜日、10:00～11:30、中央館で実施)

月	テーマ
5	家族のはなし
6	沖縄の本
7	こわーいはなし
9	魔女のはなし
10	川のはなし
11	犬vs猫
12	男vs女
1	本を作ろう
2	お料理の本
3	ことばあそびの本

具体的なプログラム

テーマ 男vs女

- 導入 子どもたちへの質問
「今度生まれ変わるとしたら男がいいか、女がいいか」
- 本の紹介
「ハンサムガール」理論社
「おれがあいつであいつがおれで」旺文社
「女の子はサンタクロースになれないの？」国土社
「かえだま日曜日」童話屋
「ワンピース戦争」童心社
- 読み聞かせ
「フランスまいごになる」偕成社

(3) 市立小学校との協力事業

市内公立全小学校を対象に、読書の動機づけを行った。対象は原則として、社会科で図書館について学び、行動範囲も広がる3年生とし、図書館利用のガイダンスや本の紹介をした。学校の要望に応じて、他の学年にも実施した。この他、夏休み向けに、先生方と協力して推せん図書リストを作成し、それ以外の図書館作成リストも随時配付した。また、先生方から読書相談を受けたり、依頼により父母に向けて本の紹介や読み聞かせについての会をもつなど学校との連携をはかった。希望に応じて団体貸出も行った。

プログラム例

内	容
A	プログラム ガイダンス(3年生) 1. 「としょかんのつかいかた」(利用案内の説明) 2. 本の紹介 「エイプリルと子ねこ」「犬をふたりで半分こ」 「ちびドラゴンのおくりもの」「ワニのライルがやってきた」
B	プログラム テーマ;どんな色が好きですか(6年生) 1. 本の紹介 「アニメーニ」「黒いお姫さま」「ぼくの最高機密」 「風と木の歌」「いろいろへんないろのはじまり」 2. ストーリーテリング 「白い家の老人」
C	プログラム テーマ;どんな食物が好きですか(1年生) 1. 読み聞かせ 「すいかのたね」 2. 本の紹介 「みどりいろのたね」「おさらをあらわなかったおじさん」 「おおきなぼけっと 93年11月号」 3. ストーリーテリング 「ついでにペロリ」

平成5年度学校協力事業実施回数及び団体貸出冊数

学校名	協力事業実施回数							団体貸出冊数
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
第一	1	1	1	1	1	1	6	720
第二			1				1	90
第三			1				1	28
八雲台			1				1	809
富士見台			1				1	540
滝坂			1				1	0
深大寺			1				1	721
上ノ原			1				1	623
石原		1	2				3	2,105
若葉	2	1	2	1			6	8,295
野川			1				1	16
緑ヶ丘			1				1	1,480
染地			1				1	635
北ノ台			1				1	421
多摩川			1				1	51
杉森			1				1	760
大町			1				1	7
飛田給			1				1	0
柏野			1				1	0
国領			1				1	134
布田			1				1	360
小計	3	3	23	2	1	1	33	17,795
中学校								
第五								2
第八								27
小計							0	29
合計							33	17,824

(4) その他

事業名	日時・会場	内容
中学生通信の発行	毎月1回、第1日曜日 午前9時半～11時半 市民センター (編集会場)	中学生との交流と図書館利用の促進を目的に、中学生による中学生のための通信「ぶちねこ便」を発行した。各図書館のカウンターを通じて配布したところ、読者からの反響は大きかった。
児童館・学童保育所 保育園・幼稚園 文庫等への働きかけ	随時 随時 図書館または 左記施設	市の施設等に対して、図書の団体貸出を行った。また、施設を利用している子どもたちを対象に読み聞かせなどを行い、相互の連携をはかった。

平成5年度保育園への団体貸出冊数

保育園名	団体貸出冊数
下布田	212
富士見	698
仙川	334
金子	871
上石原	423
第五	391
深大寺	470
神代	493
宮ノ下	472
東部	397
上布田	0
二葉くすのき	87
緑ヶ丘	778
合計	5,626



2 成人対象の事業

事業名	日時・会場	内容
子どもの本を読む会	毎月1回、第4火曜日 午前10時～12時 公民館	下記の本を題材に、会員同志、読後感を話し合い、子どもと子どもの本に対する理解を深めた。
		4 「時計坂の家」リブリオ出版
		5 「エイズと闘った少年の記録」ポプラ社
		6 「亀八」偕成社
		7 「ふたりの星」講談社
		9 「太陽の戦士」岩波書店
		10 「おれいであいおれい」旺文社
		11 「ハリーの脱出」佐学社
		12 「リトルベアー」佐学社
		1 「アジアの昔話」福音館書店
		2 来年度の計画
		3 「イシ」岩波書店

V 蔵書の状況

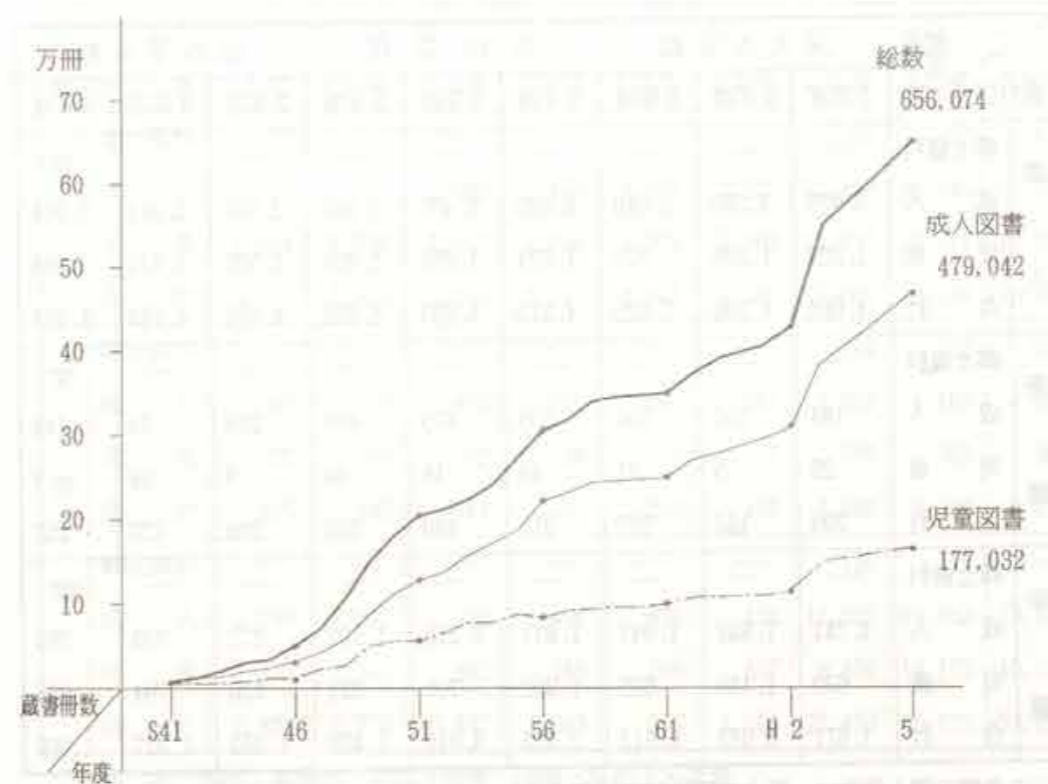
中央館では、各分野のセンターとしての役割を果たすために、すべての分野にわたって網羅的に収集することを原則として蔵書の構築をはかっている。一方、各分館は文学を中心に社会科学・歴史・地理・家庭など比較的使用頻度の高い分野に重点を置いて整備を進めている。新中央館用の図書については、全分野をグループに分け、各グループで長期的に継続購入しているほか、調布独自のコレクションとして映画資料を購入している。児童用は分野別図書の補充をし、紙芝居と洋書を購入した。

平成3年度から、資料の迅速な入手と、全館的視野に立った選書体制づくりを進めるため、見計り選書システムを導入している。

図書の保存に関しても、全館からの保存希望図書を対象に作業が続けられており、資料的価値のある本の保持に努めている。

現在の中央館は、所蔵能力を超えており、新しい資料でも、離れた2か所の書庫に保存せざるを得ず、利用者の求める資料を所蔵しているにもかかわらず直ちに提供できない状況にあり、十分な開架スペースと保存機能を備えた新しい中央図書館の建設が大いに待たれる。また、全館オンライン化し、情報の迅速化を進めたが、合わせて物流の迅速化、すなわち全館に資料を配送する運搬車の回数の増大をしていきたい。

年度別蔵書冊数の推移



館別購入・寄贈受入・除籍冊数

資料区分	館名 年	中央館			国領分館			つつじヶ丘分館		
		3年度	4年度	5年度	3年度	4年度	5年度	3年度	4年度	5年度
購入	郷土資料	83	67	110	—	—	—	—	—	—
	成人	20,699	19,230	17,516	3,729	3,333	3,726	1,534	1,674	1,440
	児童	9,049	8,123	5,423	1,600	1,472	1,462	1,178	1,213	1,032
	合計	29,831	27,420	23,049	5,329	4,805	5,188	2,712	2,887	2,472
寄贈	郷土資料	344	783	621	—	—	—	—	—	—
	成人	430	2,010	2,380	221	172	378	174	73	97
	児童	385	128	168	7	10	20	0	2	5
	合計	1,159	2,921	3,169	228	182	398	174	75	102
除籍	郷土資料	135	10	—	—	—	—	—	—	—
	成人	5,758	1,463	948	1,431	1,197	2,076	797	1,432	948
	児童	2,254	809	208	986	731	1,359	697	808	865
	合計	8,147	2,282	1,156	2,417	1,928	3,435	1,494	2,240	1,813

資料区分	館名 年	深大寺分館			神代分館			宮の下分館		
		3年度	4年度	5年度	3年度	4年度	5年度	3年度	4年度	5年度
購入	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	3,335	3,380	2,949	2,995	3,405	2,987	2,582	3,314	2,914
	児童	1,329	1,386	976	1,524	1,288	1,302	1,507	1,475	1,088
	合計	4,664	4,766	3,925	4,519	4,693	4,289	4,089	4,789	4,002
寄贈	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	184	157	206	335	475	484	209	70	149
	児童	25	5	21	40	14	68	0	59	8
	合計	209	162	227	375	489	552	209	129	157
除籍	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	1,241	1,892	1,947	1,671	2,215	1,102	277	533	285
	児童	630	1,130	665	1,252	795	321	726	794	675
	合計	1,871	3,022	2,612	2,923	3,010	1,423	1,003	1,327	960

○中央館の購入冊数は、新中央図書館用図書を含む。

資料区分	館名 年	緑ヶ丘分館			富士見分館			若葉分館		
		3年度	4年度	5年度	3年度	4年度	5年度	3年度	4年度	5年度
購入	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	3,776	3,022	2,957	3,548	2,956	3,182	3,518	2,893	2,632
	児童	1,631	1,238	843	1,548	1,300	1,196	2,335	1,616	1,845
	合計	5,407	4,260	3,800	5,096	4,256	4,378	5,853	4,509	4,477
寄贈	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	316	308	151	222	274	195	621	258	120
	児童	5	13	15	9	78	31	41	16	6
	合計	321	321	166	231	352	226	662	274	126
除籍	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	1,209	1,470	2,203	937	977	561	997	1,532	1,097
	児童	767	806	2,026	565	814	267	645	1,636	2,277
	合計	1,976	2,276	4,229	1,502	1,791	828	1,642	3,168	3,374

資料区分	館名 年	染地分館			佐須分館			計		
		3年度	4年度	5年度	3年度	4年度	5年度	3年度	4年度	5年度
購入	郷土資料	—	—	—	—	—	—	83	67	110
	成人	3,260	3,752	3,699	3,476	3,487	3,283	52,452	50,446	47,285
	児童	2,014	1,726	1,567	1,638	1,374	1,302	25,353	22,211	18,036
	合計	5,274	5,478	5,266	5,114	4,861	4,585	77,888	72,724	65,431
寄贈	郷土資料	—	—	—	—	—	—	344	783	621
	成人	97	122	432	148	247	101	2,957	4,166	4,693
	児童	28	60	12	39	3	7	579	388	361
	合計	125	182	444	187	250	108	3,880	5,337	5,675
除籍	郷土資料	—	—	—	—	—	—	135	10	—
	成人	1,749	2,212	1,555	1,458	630	424	17,525	15,553	13,146
	児童	1,132	1,564	882	185	285	607	9,839	10,172	10,152
	合計	2,881	3,776	2,437	1,643	915	1,031	27,499	25,735	23,298

○曝書(本の棚卸)実施館 平成3年度 国領・宮の下・若葉
平成4年度 染地・佐須・深大寺・神代・富士見
平成5年度 つつじヶ丘・緑ヶ丘

年度別・館別登録者数

館別	年度	S41	46	51	56	61	S62・63	2	3	4	5	5
							出累計		(累計)	(累計)		(新規)
成人	中央館	2,161	8,471	7,984	7,868	7,267	13,635	7,906	6,717	11,838	16,204	4,185
	中国領分館	—	1,598	1,930	2,017	2,178	3,453	2,147	3,088	1,611	2,492	840
	つじヶ丘分館	—	967	1,080	1,009	994	1,445	1,018	1,269	1,515	768	768
	深大寺分館	—	758	1,665	1,375	1,319	1,777	1,190	1,585	1,999	1,300	1,300
	神代分館	—	753	2,301	1,927	2,213	3,342	2,110	2,856	3,588	2,241	2,241
	宮の下分館	—	—	1,264	1,264	1,496	2,476	1,465	2,008	1,160	1,808	628
	緑ヶ丘分館	—	—	1,201	1,023	1,167	1,646	1,031	1,427	1,796	1,185	1,185
	富士見分館	—	—	1,249	1,197	1,424	2,094	1,232	1,823	2,231	1,201	1,201
	若葉分館	—	—	2,109	2,003	2,229	3,444	2,216	2,969	1,798	2,910	1,065
	佐須分館	—	—	—	2,181	2,750	3,636	2,317	1,975	2,625	3,226	530
計	2,161	12,547	20,783	21,864	24,880	39,646	24,271	27,202	32,276	35,952	14,384	
指数	100	581	962	1,011	1,151		1,123	1,259	1,494	1,664		
児童	中央館	921	6,713	4,531	3,534	2,487	4,080	2,201	1,747	2,603	2,646	634
	中国領分館	—	1,844	2,108	2,113	1,546	1,974	1,067	1,464	820	1,042	332
	つじヶ丘分館	—	2,083	2,343	1,235	1,153	1,443	896	1,055	1,195	444	444
	深大寺分館	—	1,190	1,605	1,320	830	1,102	622	864	1,151	757	757
	神代分館	—	1,137	2,142	1,576	1,240	1,726	965	1,329	1,613	845	845
	宮の下分館	—	—	1,620	1,507	1,268	1,830	956	1,304	866	1,094	366
	緑ヶ丘分館	—	—	1,768	1,188	944	993	521	706	852	532	532
	富士見分館	—	—	1,564	1,414	1,290	1,645	864	1,289	1,561	808	808
	若葉分館	—	—	2,058	1,692	1,543	2,048	1,230	1,565	1,130	1,410	485
	佐須分館	—	—	—	2,330	1,922	2,434	1,264	922	1,220	1,247	234
計	921	12,967	19,739	17,909	15,604	21,211	11,570	12,949	14,184	11,994	5,697	
指数	100	1,042	2,143	1,944	1,694		1,256	1,406	1,540	1,302		
合計	中央館	3,082	15,184	12,515	11,402	9,754	17,715	10,107	8,464	14,531	18,850	4,820
	中国領分館	—	3,442	4,038	4,130	3,724	5,427	3,214	4,552	2,431	3,534	1,172
	つじヶ丘分館	—	3,050	3,423	2,244	2,147	2,888	1,914	2,324	2,710	1,212	1,212
	深大寺分館	—	1,948	3,270	2,695	2,149	2,879	1,812	2,449	3,140	2,057	2,057
	神代分館	—	1,890	4,443	3,503	3,453	5,068	3,075	4,185	5,201	3,086	3,086
	宮の下分館	—	—	2,884	2,771	2,764	4,306	2,421	3,312	2,026	2,902	994
	緑ヶ丘分館	—	—	2,969	2,211	2,111	2,639	1,552	2,133	2,648	1,717	1,717
	富士見分館	—	—	2,813	2,611	2,714	3,739	2,096	3,112	3,792	2,009	2,009
	若葉分館	—	—	4,167	3,695	3,772	5,492	3,446	4,534	2,928	4,320	1,550
	佐須分館	—	—	—	4,511	4,672	6,070	3,581	2,897	3,845	4,473	764
計	3,082	25,514	40,522	39,773	40,484	60,857	35,841	40,151	46,460	47,946	20,081	
指数	100	828	1,315	1,290	1,314		1,163			1,556		
登録率	2.5	15.6	23.5	22.2	21.3		18.7			24.9		

- ・昭和52年度より貸出券の有効期間が3年間となった。
- ・平成3年度は、中央館・染地・佐須分館が10月より電算化したため、それ以降の合計と未電算館8館の2年度からの累計による。
- ・平成4年度は、中央館・染地・佐須分館の平成3年10月からの累計と新たに電算化した国領・宮の下・若葉分館の平成4年9月からの合計と他未電算館3館の平成2年度からの累計による。
- ・平成5年度より全館の電算化が完了したので、全館とも電算開始日から年度末の有効登録者数による。また、新規とは、最新年度分のみのものである。

(平成6年3月31日現在)

平成5年度 館別・年齢別登録者数

館名 年齢別	中央館	国領	つじヶ丘	深大寺	神代	宮の下	緑ヶ丘	富士見	若葉	染地	佐須	合計	人口
0～6	712	265	157	208	298	313	141	199	397	316	322	3,328	11,728
～12	1,934	777	287	549	547	781	391	609	1,013	931	847	8,666	10,364
～15	1,098	299	77	148	255	289	120	160	404	486	433	3,769	5,789
～18	1,192	225	32	75	169	142	86	109	310	319	228	2,887	7,096
～22	3,406	339	27	99	253	199	111	88	281	304	290	5,307	16,275
～29	3,328	309	64	132	228	147	126	95	278	246	254	5,207	29,276
～39	2,513	512	228	280	500	490	263	257	602	535	482	6,662	27,027
～49	2,064	432	190	251	384	362	220	296	520	683	463	5,865	27,903
～59	1,189	172	68	139	208	139	118	106	236	334	212	2,921	25,973
～64	530	68	42	65	101	60	39	31	78	115	89	1,218	10,846
～69	383	56	21	59	56	35	50	24	101	90	77	952	7,950
～79	403	67	18	45	60	25	45	29	82	87	66	936	8,884
80～	98	13	1	7	18	10	7	6	18	27	23	228	3,757
合計	18,850	3,534	1,212	2,057	3,086	2,902	1,717	2,009	4,320	4,473	3,780	47,946	192,868

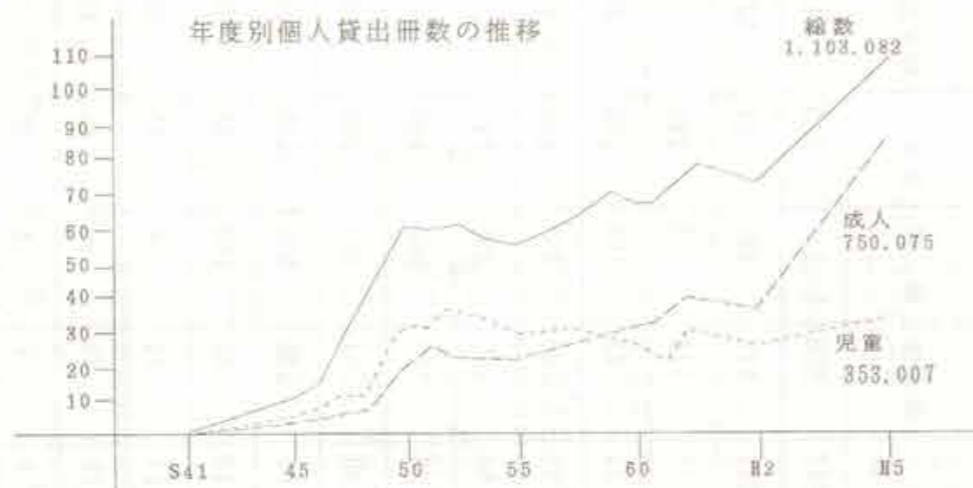
2 貸出

平成5年度は、全館の電算化が完了し、全館とも1人5冊貸出に揃ったため急激に増加し110万冊を突破した。

一方、団体貸出冊数は、4年度よりやや減少した。

個人貸出の制限冊数の変遷

- 昭和49年度より 全館1人2冊貸出開始。
- 昭和62年度より 全館1人3冊貸出開始。
- 平成3年10月より 第1期電算館（中央館・築地分館・佐須分館）が1人5冊貸出開始。
- 平成4年9月より 第2期電算館（国領分館・宮の下分館・若葉分館）が1人5冊貸出開始。
- 平成5年7月より 第3期電算館（深大寺分館・神代分館・富士見分館）が1人5冊貸出開始。
- 平成5年11月より 第4期電算館（つつじヶ丘分館・緑ヶ丘分館）が1人5冊貸出開始。



平成5年度 館別個人貸出冊数

館名 資料別		中央館	国領館	佐須分館	計	%
成人	雑誌	10,326	487	4,777	66,161	6
	図書	191,056	635	49,669	683,914	62
小計		201,382	722	54,446	750,075	68
児童図書		58,972	394	28,867	353,007	32
合計		260,354	1,016	83,313	1,103,082	100

平成5年度 館別団体貸出冊数

館名 団体別		中央館	国領館	佐須分館	計
団体数		52	2	8	214
貸出冊数	学校	1,620	5	1,209	17,824
	保育園	212	0	0	5,626
	その他	246	0	1,037	2,464
	合計	2,078	5	2,246	25,914

- 若葉分館は、若葉小学校全学
- その他は、文庫・幼稚園・

平成5年度 館別個人貸出冊数

館名 資料別	中央館	国領分館	つつじヶ 丘分館	深大寺 分館	神代分館	宮の下 分館	緑ヶ丘 分館	富士見 分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	%
	成人 雑誌	10,326	5,504	6,585	4,840	6,139	5,526	4,848	4,775	6,354	6,487	4,777	66,161
成人 図書	191,056	66,610	25,085	41,888	61,225	47,865	35,471	46,800	55,310	62,935	49,669	683,914	62
小計	201,382	72,114	31,670	46,728	67,364	53,391	40,319	51,575	61,664	69,422	54,446	750,075	68
児童図書	58,972	31,484	20,923	24,647	33,587	29,672	18,193	30,389	36,679	39,594	28,867	353,007	32
合計	260,354	103,598	52,593	71,375	100,951	83,063	58,512	81,964	98,343	109,016	83,313	1,103,082	100

平成5年度 館別団体貸出冊数

館名 団体別	中央館	国領分館	つつじヶ 丘分館	深大寺 分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘 分館	富士見 分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	
	団体数	52	8	7	11	14	13	21	23	25	32	8	214
貸出冊数	学校	1,620	224	23	742	623	81	1,507	2,105	8,295	1,395	1,209	17,824
	保育園	212	478	871	470	493	895	778	698	731	0	0	5,626
	その他	246	0	18	23	71	84	390	69	226	300	1,037	2,464
	合計	2,078	702	912	1,235	1,187	1,060	2,675	2,872	9,252	1,695	2,246	25,914

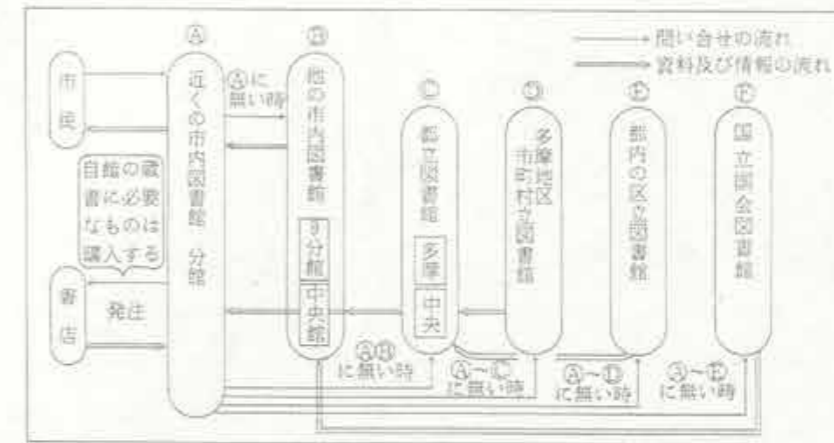
- 若葉分館は、若葉小学校全クラスに読書の時間を通して定期的にクラス単位の貸出をしている。
- その他は、文庫・幼稚園・学童保育所・児童館・公民館等。

3 予約・リクエスト

予約図書は平成元年度より増加しているが、平成5年度は前年度比1.7倍と著しく伸びた。この中には、予約やリクエスト図書の要望だけでなく、必然的に市民の日常生活や仕事の中で起こった疑問の解決、調査、研究の援助などの要望が含まれており、図書館員に対して、本の専門的知識の要求が高まっていることを示している。また利用者の電算による検索が可能になり、要望が出しやすくなったことも一つの要因と言えるだろう。

こうした市民からの資料要求に応えるためには、自館の蔵書だけでは不可能であり、図書館ネットワークの働きが大切である。市内図書館システムの総力をあげても、まだ十分に答えられない時、都立図書館、多摩地区市町村立図書館、都内の区立図書館、国立国会図書館などの相互協力によって、市民からの要望にできる限り応えている。

予約サービスの流れ(例)



平成5年度 館別予約図書受付冊数

資料別 \ 館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
成人図書	16,357	4,088	2,305	2,513	3,997	1,109	2,303	1,773	2,891	3,990	1,862	43,188
児童図書	1,430	1,018	480	324	541	279	438	528	878	737	237	6,890
合計	17,787	5,106	2,785	2,837	4,538	1,388	2,741	2,301	3,769	4,727	2,099	50,078

○ 予約図書には、リクエスト図書も含む。

平成5年度 都立図書館からの借用冊数

申込冊数	図 書			借用合計	借用率	雑 誌			申込冊数	借用冊数	借用率	合 計	
	多摩図書館から借用	中央図書館から借用	日比谷図書館から借用			申込冊数	多摩図書館から借用	借用率				申込冊数	借用冊数
1,990	712	531	68	1,311	65.9	968	828	85.5	2,958	2,139	72.3		

○ 数値は、市内図書館全館の値。

平成5年度 他自治体との相互貸借冊数

「探しています」による 多摩地区市町村立図書館との相互貸借				「予約情報 多摩版」 による多摩地区市町村 立図書館への貸出冊数	各図書館による直接の相互貸借		国立国会図書館から借用		
申込冊数	借用冊数	借用率	貸出冊数		借用冊数	貸出冊数	申込冊数	借用冊数	借用率
75	40	53.3	32	62	181	126	12	7	58.3

○ 数値は、市内図書館全館の値。

4 活動実績

図書館活動10年間の推移

区分 年度	人口 A	蔵書冊数 B	年間受入 冊数 C	貸出冊数 D		登録者 E'			登録率 % E/A	登録者1人当り		蔵書 回転率 % D/B	職員数		職員1人当り		図書費 千円 G	人口1人当り				開館日数 H	1冊当り 1日の貸出 冊数 D/H
				個人	団体	個人		団体		貸出冊数 D/E'	年間受入 冊数 C/E'		職員 F	その他	人口 A/F	貸出冊数 D/F		貸出冊数 D/A	蔵書数 B/A	年間受入 冊数 C/A	図書費 G/A		
						市内 E	市外																
59	184,253	340,982	36,823	696,787	17,304	40,373	1,418	44	21.9	17.1	0.88	2.1	45	8	4,095	15,869	49,990	3.88	1.85	0.20	271	2,979	240
60	187,244	345,429	38,484	672,672	17,898	39,588	1,341	46	21.1	17.1	0.94	2.0	46	8	4,071	15,012	49,955	3.69	1.84	0.21	267	2,883	240
61	189,747	362,271	36,568	666,784	17,385	39,153	1,331	44	20.6	16.9	0.90	1.9	46	8	4,125	14,873	73,139	3.61	1.91	0.19	385	2,902	236
62	191,410	387,876	49,568	789,017	19,778	37,470	1,220	39	19.6	20.9	1.28	2.1	46	8	4,161	17,583	85,868	4.23	2.03	0.26	449	2,870	282
63	191,811	409,477	58,477	725,292	19,806	11,871	483	181	—	—	—	1.8	45	9	4,262	16,558	99,989	3.88	2.13	0.30	521	2,710	275
1	191,709	424,696	65,007	696,851	18,946	9,379	434	145	—	—	—	1.7	46	15	4,168	15,561	117,640	3.73	2.22	0.34	614	2,806	255
2	192,018	457,718	85,749	720,652	22,325	34,750	1,091	146	18.1	20.6	2.38	1.6	46	15	4,174	16,152	150,235	3.87	2.38	0.45	782	2,626	283
3	193,038	555,593	81,768	812,173	23,047	38,706	1,445	177	—	—	—	1.5	48	29	4,022	17,400	170,467	4.33	2.88	0.42	883	2,819	296
4	193,647	608,543	72,724	949,181	27,799	44,461	1,999	227	—	—	—	1.6	48	30	4,034	20,354	130,995	5.05	3.14	0.40	676	2,848	343
5	192,868	656,074	71,106	1,103,082	25,914	45,684	2,262	214	24.7	23.4	1.48	1.7	49	43	3,936	23,041	124,528	5.85	3.40	0.37	646	2,885	391

○蔵書数、年間受入冊数、図書購入費は昭和61年度以降新中央館分も含む。

○職員のその他とは、協力員・委託要員・嘱託・社会教育指導員。

○登録率・登録者1人当りの貸出冊数の値は、昭和62年度より貸出券の有効期間が3年間になったため、昭和63年度・平成元年度は算出できなかった。また平成3年度・4年度も電算貸出の移行期に当り、全館の登録者の算出基準が異なるため算出できなかった。

○電算館の貸出券には特に有効期限はない。(2年間全く利用のなかった登録者は年度末に削除する。)

VII ハンディキャップサービス

公共図書館は、「すべての住民の学習権の保障」「いつでも・どこでも・だれでも利用できる図書館」を目標としている。その意味で、ハンディキャップサービス（以下HCサービス）は、「図書館利用にハンディキャップのある人々へのサービス」として位置づけられ、何ら特殊なサービスではない。そして、その基本となるのは図書館利用のための条件整備をすることである。

調布市立図書館におけるHCサービスは、昭和54年4月打合せ会が発足し、その体制づくりが始まった。内容は、主に視覚障害者を対象とした、朗読サービスと点訳サービスが中心である。ここ数年、点訳の枚数、対面朗読の実施回数、テープ雑誌の貸出数などは順調な伸びを示している。利用者の増加に伴い業務量も増大しており、それに対応する体制も整備されなければならない。

これまでのHCサービスは視覚障害者を中心に進めてきたが、今後は、視覚障害者以外にもサービスの範囲を広げ、「だれでも」利用できる図書館を目指していく必要がある。

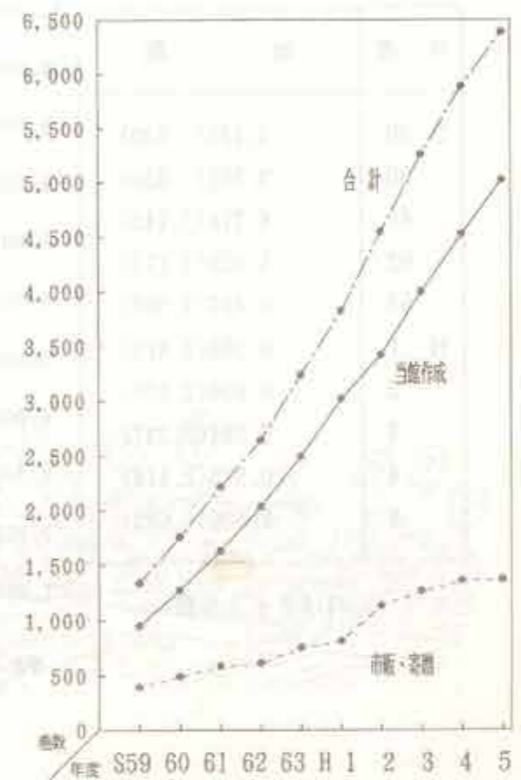
1 朗読サービス

平成5年度も、朗読テープのリクエストが広い分野に渡りたくさん寄せられた。これに伴い、テープの貸出も大幅に伸びた。対面朗読は、総合福祉センターの対面朗読室、国領分館のおはなし室などで行った。

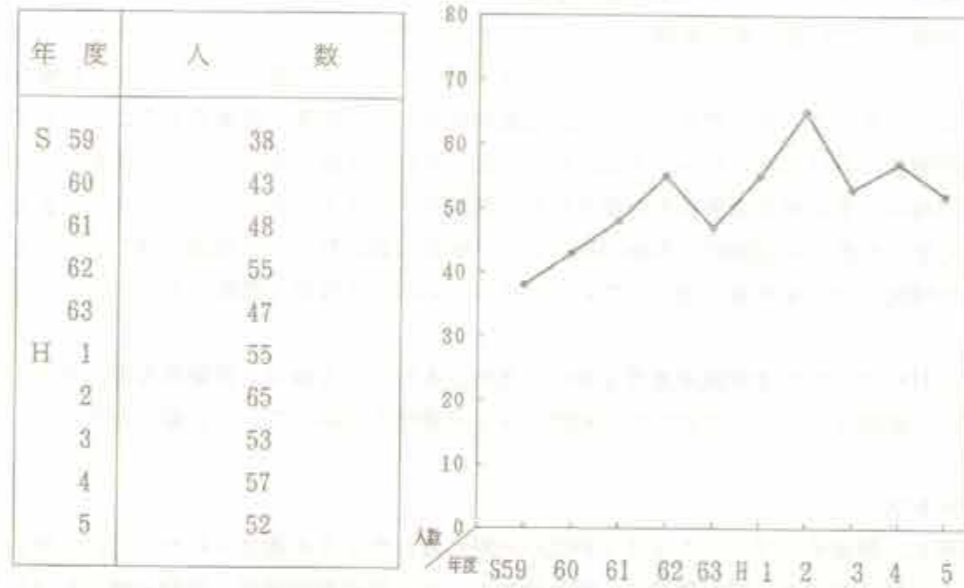
録音テープ所蔵巻数の推移

年度	当館作成	市販・寄贈	合計
S59	948(244)	390(320)	1,338(564)
60	1,276(260)	484(369)	1,760(629)
61	1,631(305)	581(405)	2,212(710)
62	2,031(362)	604(428)	2,635(790)
63	2,486(432)	747(479)	3,233(911)
H 1	3,012(509)	808(531)	3,820(1,040)
2	3,415(571)	1,129(667)	4,544(1,238)
3	3,992(671)	1,262(703)	5,254(1,374)
4	4,525(755)	1,360(777)	5,885(1,532)
5	5,019(824)	1,366(783)	6,385(1,607)

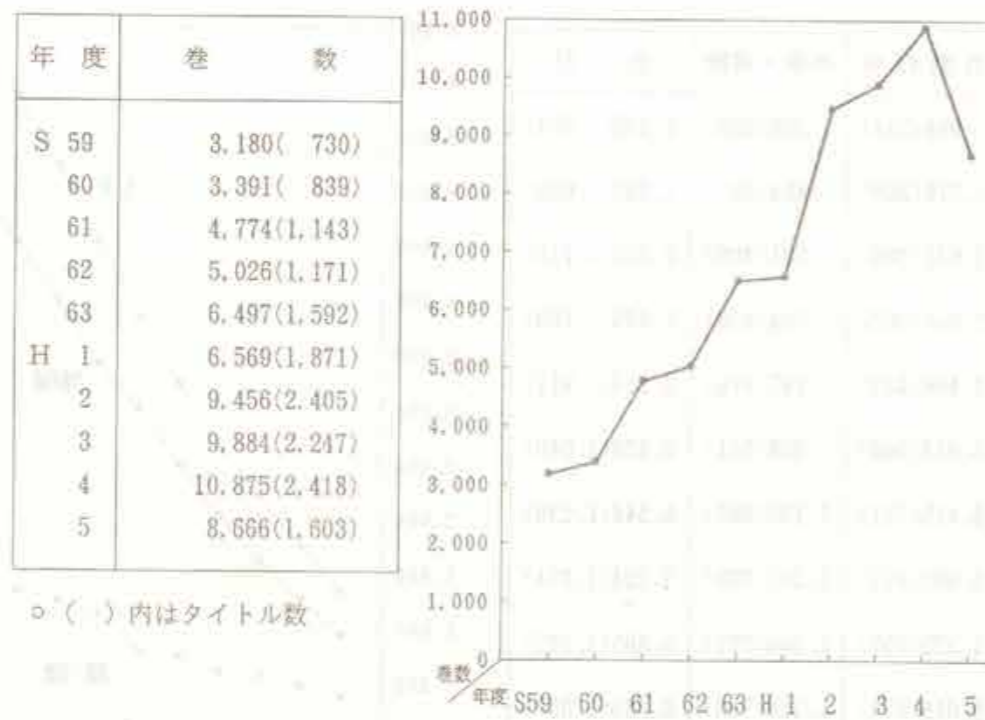
○ () 内はタイトル数



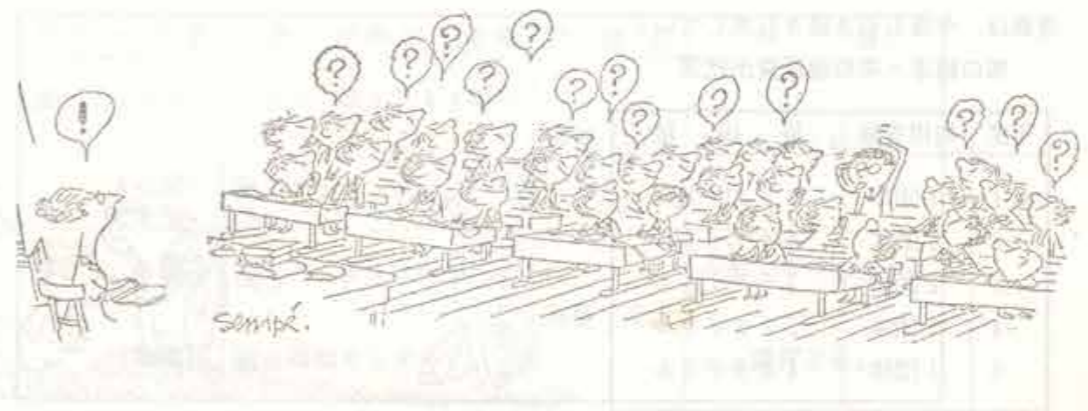
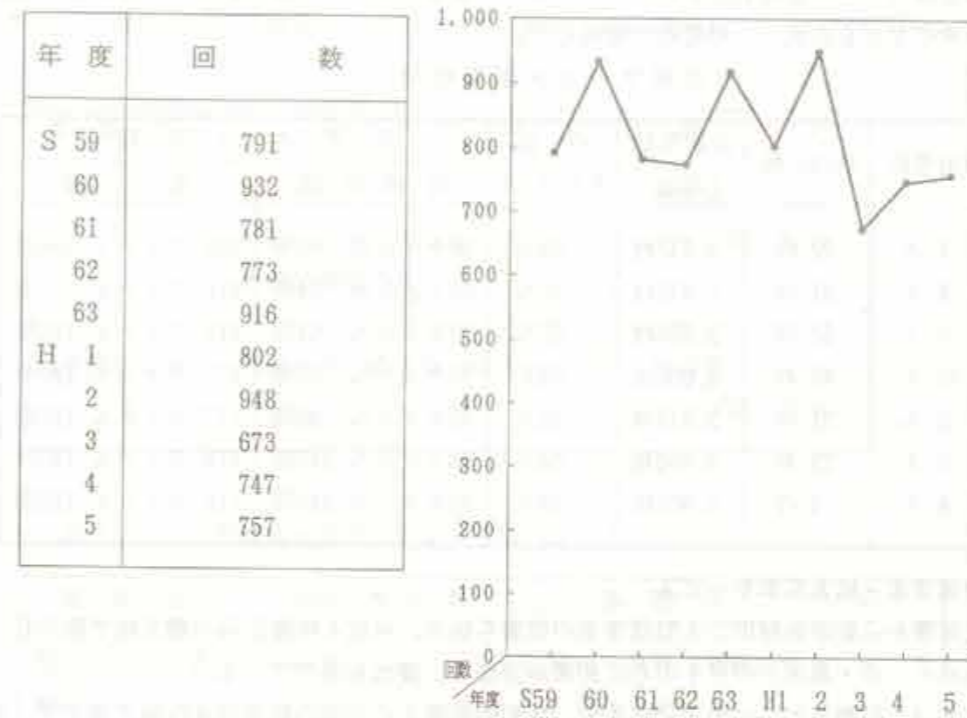
ハンディキャップサービス利用者（録音テープ利用者）数の推移



録音テープ貸出巻数の推移



対面朗読実施回数の推移



2 点訳サービス

リクエストの内容は、利用者の生活にかかわるプライベート・サービスが中心であった。その中には立体コピーの活用も含まれている。また、要望の強かった調布駅などの時刻表や家庭医学書の索引などを点訳し、利用者に配布した。

点訳サービス実施状況

年度	利用者数	リクエスト数	点訳枚数 (両面)	点訳 ボランティア	点字本の所蔵	
					自館作成	寄贈
S62	7人	22件	2,637枚	28人	30タイトル 64冊	109タイトル 166冊
63	8人	31件	1,935枚	20人	30タイトル 64冊	110タイトル 172冊
H1	6人	32件	2,890枚	20人	30タイトル 64冊	112タイトル 174冊
2	10人	40件	3,000枚	35人	31タイトル 67冊	115タイトル 182冊
3	6人	21件	3,843枚	35人	32タイトル 89冊	117タイトル 187冊
4	5人	29件	3,990枚	34人	33タイトル 143冊	119タイトル 192冊
5	6人	9件	2,902枚	29人	35タイトル 149冊	119タイトル 192冊

3 大型活字本・拡大写本サービス

平成元年度から新中央館用に大型活字本の収集を始め、平成4年度から分館9館で展示し、貸出を始めた。中・高年の市民を中心に利用が定着し、貸出も伸びている。

拡大写本は、弱視者からの要望に応じて、昭和62年度から市民の拡大写本作成グループ“そよかぜ”に作成を依頼している。

4 子どもへのサービス

市内のあゆみ学園（障害児の通所訓練施設）で、おはなし会（布の絵本の読み聞かせや指あそび等）6回と団体貸出（布の絵本38タイトル・図書120冊）を行った。子どもたちは、回を重ねるごとにお話を楽しめるようになってきており、園の行事として定着してきている。その他にも、例年第一小学校ひまわり学級への訪問を実施していたが、第一小学校の校舎改築のために今年度は働きかけができなかった。

平成2年度から布の絵本の収集を始めた。現在51タイトルを所蔵している。布の絵本・布の遊具は、今後も引き続き収集していく。

布の絵本・布の遊具貸出状況

年度	利用者数	貸出数
H1	1団体	22タイトル
2	2団体	44タイトル
3	2団体	35タイトル
4	1団体	32タイトル
5	1団体	46タイトル



5 PR活動

利用の拡大を目指し、市内在住の1・2・3級の視覚障害者に、利用案内・録音テープ目録を作成し送付している。また、声のお知らせ「オカリナ通信」を利用者全員に送付しているが、特にこの通信の《新作情報》（都内の公共図書館で新たに作られたテープの紹介）などから多くのリクエストが寄せられている。

事業名	内容	備考
オカリナ通信	・新刊の紹介 ・新しいテープのお知らせ ・新着図書案内 など	利用者 57人 テープ版 毎月
図書館だより	・図書館発行の広報（全8ページ）	利用者 57人 テープ版 年4回

6 ボランティアの養成とボランティアグループ

事業名	期日・参加人数	講師及び内容
朗読者・点訳者登録会	4月9日 19人	情報交換等の懇談とボランティアの登録手続
初級朗読講座	4月28日～9月29日 （全15回） 30人	講師 日本点字図書館校正者 田中 共子氏 「朗読技術の初歩」
新規登録朗読者説明会	10月6日 18人	初級朗読講座修了者に対して、登録カードの記入・マニュアルの説明

グループ名	人数・定例日・会場	代表者	内容
調布プライユ （点訳）	28人 第2・4木曜日 総合福祉センター	児島 裕子	打ち合せと校正
ちょうふ水曜会 （朗読）	41人 第4水曜日 総合福祉センター	海藤 ルミ	作製テープを聞き合い、講評する。

VIII 集会・学習活動

1 集会・学習活動の状況

図書館は、社会教育実施機関のひとつとして、市民の生涯学習を促進するため様々な事業を展開してきました。現在は、図書館が市民の読書啓発のために展開する独自事業と、図書館を拠点に学習活動を実践している“調布ブッククラブ”との共催・協力事業を実施しています。

独自事業では、話題性の高い作品などをテーマにした講演会や座談会等を開催しました。共催等の事業では、市民の学習、創造の場を提供し、生涯学習の確立に努めました。

また、今年度は恒例となっている「図書館まつり」を9月～10月と2月の2回実施し、TAMAライフ21協会の協賛も得て幅広い啓蒙活動をおこないました。

2 行事

(1) 講演会（文化・文芸・時局等）

期 日	講 師	内 容
5月15日	筑波大学教授 進藤 榮一 氏	国連とこれからの日本の役割 ～変貌する世界～
11月27日	評論家、農業従事者 佐藤 藤三郎 氏	農業をやめない理由
12月11日	作家 村上 護 氏	漂泊の詩人 山頭火の世界
3月26日	映画監督 土本 典昭 氏	ロシア漁民の生活をさぐる

(2) 著者を囲む会

期 日	講 師	テ キ ス ト
7月17日	画家 司 修 氏	「犬」 「迷霧」

(3) 座談会

期 日	講 師	内 容
6月26日	作家 岡 百合子 氏	白い道をゆく旅 ～私の戦後史～
7月 1日	国際演劇協会副会長 田中 亮吉 氏	わが兄貴・深沢七郎 ～冥土の道草～
1月17日	俳優 田嶋 義文 氏	役者の夢 新年に思う

(4) 講座（子どもの本に親しむ会）

期 日	講 師	内 容
11月12日	職員	本と手あそびうたの紹介
11月18日	児童雑誌編集長 関口 展 氏	たっぷりゆっくりおもいっきりを子どもたちへ

(5) 平和施策事業

期 日	事 業 名	内 容
7月28日	平和祈念映画会	「きけわだつみの声」の上映 原作「戦没学徒兵の手記」監督 関川 秀雄
8月19日	平和祈念講演会	早稲田大学西川潤研究室研究員 野田 真里 氏 カンボジアの現状と日本の役割

(6) 映画会

期 日	作 品	原 作 者	監 督
5月28日	四万十川	笹 山 久 三	恩 地 日出夫
7月21日	11びきのねこ	馬 場 のぼる	
10月20日	彼岸花	里 見 弴	小 津 安二郎
12月14日	新・夫婦善哉	織 田 作之助	豊 田 四 郎
3月17日	本日休診	井 伏 鱒 二	波 谷 実

3 図書館まつり

(1) 秋の図書館まつり

主要テーマ「人としての心」

事 業 名	期 日	講 師 及 び 内 容 等
朗読の会	9月 9日	「晩菊」「ちゃん」 俳優 山本 學・江口ふじ子氏
名画鑑賞会	9月10日	「新・喜びも悲しみも幾歳月」 原作・監督 木下 恵介
時局講演会	9月11日	富山県立大学教授 足立原貫氏 「都市の生活・文化」
子ども映画会	9月18日	「夏のページ」 原作 みなみ らんぼう 監督 及川 善弘
著者を囲む会	9月22日	作家 山田 太一氏 「丘の上の向日葵」
三多摩歌会	9月26日	片山貞美・来嶋靖生・宮地伸一の三師による選評と 講話
文化講演会と朗読	9月29日	作家・駒沢女子大教授 栗田 勇氏による 「人間 良寛を語る」の講演 八木 光生氏による 「良寛を歩く」の朗読
児童文学講演会	9月30日	作家・児童文学者 宮川 ひろ氏 「童話の心しみじみと」
人形劇公演	10月 3日	人形劇団「ひばりあむ」 「かえるのエルタ」
文芸落語	10月 5日	劇作家 杉山 義法氏による 「田原坂」「五稜郭」の講演 落語家 桂 竹丸氏による落語公演

三多摩句会	10月 8日	青柳志解樹・上田五千石・黒田杏子・澤木欣一・鷹羽狩行・星野麥丘人・渡辺恭子の七師による選及び三師による俳話
図書館まつりポスター展	9月 1日 ～18日	第1回～第21回の「図書館まつりポスター」の展示
俳句・短歌展	9月21日 ～10月9日	俳句・短歌サークル会員の「作品発表」
日本画展	9月22日 ～10月11日	日本画サークル会員の「作品発表」

(2) 第22回図書館まつり

主要テーマ「人から学び本から学ぶ ～豊かな生涯学習への道を求めて～」

事業名	期日	講師及び内容等
座談会	2月 1日	随筆家・哲学者 串田 孫一氏 「四季の語らい」
名画鑑賞会	2月 2日	「父よ母よ！」 原作 斎藤 茂男 監督 木下 恵介
文芸講演会	2月 4日	作家 三浦 哲郎氏 「井伏 鱒二先生と私」
文化講演会	2月12日	書家 山田 幸男氏 「中川一政・その座標」
人形劇公演	2月13日	人形劇団 れもん座 による 「手ぶくろを買いに」
朗読の会	2月18日	俳優 池田 一臣氏・塩谷 洋子氏 「夢十夜」「原爆に夫を奪われて」
時局講演会	2月19日	京都大学農学部教授 辻井 博氏による 「米の緊急輸入とアジアの変動」
子ども映画会	2月20日	「ぞうのババール」 原作 ブリュノフ夫妻
児童文学講演会	2月22日	絵本作家 五味 太郎氏による 「絵本について、あらためて」
第22回市民句会	2月24日	青柳志解樹・澤木欣一・星野麥丘人の三師による選評と俳話
著者を囲む会	2月26日	作家 加藤 幸子氏による 「菫畑よ永遠に」
第21回 市民歌会	2月27日	片山貞美・来嶋靖生・宮地伸一の三師による選評と講話
筆跡・横顔展	2月 1日 ～14日	図書館を訪れた作家等の色紙や写真の展示

日本画展	2月16日 ～28日	日本画サークル会員による作品展示
俳句・短歌展	2月15日 ～27日	短歌サークル会員による作品展示

4 その他の事業（共催・協力事業も含む）

事業名	期日	内 容
公開講座	4月10日	「空海思想」を学ぶ
公開講座	4月15日	「土屋文明」を読む
公開講座	4月20日	「井上靖」を読む
公開講座	4月22日	「大正文学」を読む
たきおん公開合評会	5月 9日	文芸誌「たきおん31号」の創作合評
公開合同読書会	6月15日	文芸評論家 遠丸 立氏による 「星々の悲しみ」を読む
緑陰日本画展	7月 1日 ～19日	日本画3サークルによる作品発表 (指導) 田中興之子氏
夏の公開読書会	8月28日	文芸評論家 金子 昌夫氏による 「あこがれ」を読む
朱彩会展	9月 6日 ～18日	日本画サークル「朱彩会」による作品発表 (指導) 田中興之子氏
人から学び本から学ぶ 感謝の集い	12月22日	「第22回図書館まつりに向けて」
碧彩会展	3月14日 ～26日	日本画サークル「碧彩会」による作品発表 (指導) 田中興之子氏
公開講座	3月15日	「孔子」と井上靖の文学

5 育成サークル

(1) 研究グループ

サークル名	定例日	講師及び内容
井上靖を読む会	第3木曜日 午後	日本大学教授 曾根 博義氏 作家と作品研究
近代史を学ぶ会	第1月曜日 午前	高崎芸術短期大学教授 萩原 祥三氏 明治から近代の歴史を学ぶ
空海思想を学ぶ会	第2土曜日 午前	大正大学教授 福田 亮成氏 弘法大師・空海の思想と生涯を研究
源氏物語入門の会	第4水曜日 午前	電気通信大学助教授 島内 景二氏 登場人物と和歌に着目した「源氏物語」の研究
三国志を読む会	第1・3 木曜日 午後	三国志の輪読と解釈

昭和短歌史を学ぶ会	第4水曜日 午前	歌人 菜嶋 靖生氏 昭和の歌人の作品と人物を研究
聖書を読む会	第1土曜日 午前	東京女子大学助教授 守屋 彰夫氏 聖書を歴史的科学的に研究
大正文学を読む会	第4木曜日 午後	筑波大学教授 池内 輝雄氏 大正時代の作家と作品を研究
太平記を読む会	第3水曜日 午後	「太平記」の輪読と解釈
土屋文明を読む会	第3木曜日 午後	歌人 宮地 伸一氏 土屋文明の作品と人物を研究
枕草子を読む会	第3日曜日 午前	国文学者・歌人 片山 貞美氏 平安朝文学の解釈と鑑賞
万葉集を読む会	第3土曜日 午後	国文学者・歌人 片山 貞美氏 「万葉集」の作品解釈と鑑賞
民俗学入門の会	第1水曜日 午前	日本民俗学会会員 菊地 正氏 身近な伝承や民族学を学ぶ
論語を読む会	第4土曜日 午前	職員 論語の素読と解釈

(2) 読書グループ

サークル名	定 例 日	会 場
あすなろ読書会	第2木曜日 午前	中央公民館ほか
柏 読 書 会	第4木曜日 午後	会員宅
古典文学を読む会	第1土曜日 午後	若葉分館
互 葉 読 書 会	第2水曜日 午後	若葉分館
七 宝 読 書 会	第2水曜日 午前	富士見分館
針 布 読 書 会	第3木曜日 午前	神代分館
清 和 読 書 会	第3木曜日 午前	富士見分館
読書会夜行列車	第2水曜日 夜間	中央館
白 鳥 読 書 会	第1木曜日 午前	神代分館
ふ た ば 読 書 会	第4水曜日 午前	若葉分館
芙 蓉 読 書 会	第3土曜日 午前	国領分館
文章読本を読む会	第4土曜日 午前	市民センター
緑ヶ丘読書会	第4水曜日 午前	緑ヶ丘分館
宮 の 下 読 書 会	第2火曜日 午前	宮の下分館
名 作 読 書 会	第2金曜日 午前	総合福祉センター
やまなみ読書会	第1火曜日 午前	深大寺分館
若 菜 読 書 会	第1・3水曜日 午後	若葉分館

(3) 創作グループ

サークル名	定 例 日	会 場
随 想 を 書 く 会	第3土曜日 午後	神代分館
た き お ん	第2日曜日 午後	総合福祉センター
童 話 創 作 の 会	第3金曜日 午前	総合福祉センター
み ち く さ	第3木曜日 午前	深大寺分館

(4) 俳句・短歌グループ

サークル名	定 例 日	会 場
火 曜 句 会	第2火曜日 午後	神代分館
水 曜 句 会	第4水曜日 午後	若葉分館
い (にすい) 句会	第2水曜日 午後	市民センター
木 曜 句 会	第2木曜日 午後	市民センター
二 木 句 会	第2木曜日 午後	市民センター
金 曜 句 会	第2金曜日 午後	公民館
み ず き 句 会	第2金曜日 午後	市民センター
煌 ら 句 会	第3金曜日 午後	公民館
た つ く り 句 会	第3木曜日 午後	市民センター
風 舎 句 会	第1火曜日 午後	市民センター
潮 流 歌 会	第4日曜日 午前	総合福祉センター
三 日 月 歌 会	第4水曜日 午後	総合福祉センター
徑 歌 会	第3日曜日 午後	総合福祉センター
水 嶺 歌 会	第3金曜日 午後	公民館ほか
か ら す う り 歌 会	第2月曜日 午後	会員宅
福 寿 草 歌 会	第4金曜日 午前	神代分館

(5) 芸術グループ

サークル名	定 例 日	会 場
朱 彩 会	第1・3土曜日 午前	総合福祉センター
碧 彩 会	第1・3土曜日 午後	総合福祉センター
彩 雅 会	第1・3火曜日 午前	総合福祉センター

(6) 放送番組で学習する会

サークル名	定 例 日	会 場
古 典 講 読 の 会	第2木曜日 午前	公民館ほか

(7) 文学散歩

回次	期日・場所	内 容
387	4月27日 山梨県、韭崎市他	周五郎の「山彦乙女」、武田家新府城跡の韭崎 「目には青葉・・・」の山口素堂生誕地の白州
388	5月25日 新宿区	新宿界隈の小泉八雲・藤村旧居・荷風の断腸亭跡
389	5月30日～6月1日 岩手県	新緑のみちのく、柳田國男の「遠野物語」、井上ひさ しの「吉里吉里人」、蘆花の「寄生木」の宮古
390	6月16日 文京区	啄木終焉の地、馬琴・真山青果と小石川植物園
391	6月29日 前橋市他	詩人のふるさと前橋、萩原朔太郎・恭次郎・伊藤信吉 と夢二の伊香保、利一・節の榛名湖
392	7月9日 江東区	深川の芭蕉記念館、荷風の「放水路」、清澄庭園
393	10月19日 墨田区	亀戸普門院の伊藤左千夫・落合直文の萩寺
394	10月25日～26日 福島県他	晩秋の黒羽、白河、須賀川の「奥の細道」と宮本百合 子の「伸子」の那須
395	11月5日 渋谷区	渋谷道玄坂の与謝野晶子、独歩、東京新詩社跡
396	11月29日～30日 新潟県	初冬の日本海を望む良寛の寺泊・出雲崎、会津八一、 白秋の「砂山」の新潟
397	12月9日 港区	北村透谷、紅葉、巖谷小波の芝と徳川家の増上寺
398	1月7日 鎌倉市	鎌倉の長谷寺、与謝野晶子の六仏と鎌倉文学館
399	1月28日 栃木県	宇都宮の野口雨情、円地文子の「女坂」塚山古墳、紙 漉きの町の栃木烏山町
400	3月7日～9日 奈良県	大和路の会津八一、志賀直哉の「奈良」、和辻哲郎の 「古寺巡礼」、堀辰雄の「飛鳥川」
401	3月29日 豊島区	芥川、谷崎、光太郎、四迷の染井霊園、とげぬき地藏

IX 視聴覚ライブラリー

1 事業

視聴覚教育活動の普及と視聴覚ライブラリーの利用促進を図るため、教材、機材を整備し、次の事業を実施しました。

(1) 16ミリ発声映写機操作認定講習会

映写機の基礎的な構造の理解と操作技術の習得に重点を置いて、フィルムの取扱いや映写会の安全運営についても理解を深めるために講習会を実施しました。

期 日 6月5日・6日(2日間で12時間の講習)

修了者 39人

(2) 16ミリ発声映写機検定

16ミリ映写機及びフィルムの安全利用のため、小・中学校、市内事業所等の保有する16ミリ映写機の機能等の検定を実施しました。また、この検定は年1回ですが、新規購入分の映写機については随時実施しました。

期 日 6月17日～19日

検定台数 81台

(3) 地域における映画会の指導・援助

映画会の開催、フィルムの選定に関する相談等、地域の視聴覚活動の窓口として、地域映画会の援助・育成を実施しました。

(4) 都立多摩社会教育会館からの16ミリフィルムの配送

東京都立多摩社会教育会館では、市町村の利用団体に便宜を図るため、各市町村の視聴覚ライブラリー等を貸出し窓口として16ミリフィルムの配送サービスを実施しており、当ライブラリーにおいても、年々このサービスの利用が増加しています。

2 視聴覚教材・機材の利用状況

月別視聴覚教材・機材貸出数

教材・機材	月												計	保有数
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
16ミリフィルム	38	55	42	81	49	41	56	36	59	27	49	39	572	402
スライドフィルム	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	5	261
ビデオテープ	0	4	1	7	22	5	2	1	12	5	0	17	76	152
16ミリ映写機	2	3	5	16	9	4	4	4	17	1	10	6	81	13
オーバーヘッドプロジェクター(OHP)	0	2	1	2	0	1	0	0	3	0	0	1	10	3
スライド映写機	0	1	2	3	2	1	1	3	5	2	3	2	25	7
ビデオ再生機	1	0	0	2	3	3	0	2	5	2	1	3	22	1
スクリーン	0	1	3	9	4	2	0	3	4	1	4	6	37	12
暗幕	0	0	0	0	0	3	8	1	9	3	0	2	26	6
その他	6	6	4	8	6	10	8	8	7	3	4	7	77	

月別団体別利用者数

団体別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
官公署	19	15	19	133	692	35	2,441	174	155	144	243	275	4,345
図書館	197	265	212	557	259	166	179	362	844	377	288	458	4,164
幼稚園	172	589	425	1,245	782	315	45	402	815	171	1,625	163	6,749
保育園	0	0	203	387	80	40	54	91	180	0	126	387	1,548
児童館	585	750	408	840	248	892	516	406	679	308	485	378	6,495
小学校	0	475	0	472	0	0	0	0	0	0	0	206	1,153
中学校	0	0	0	0	0	0	240	0	0	0	0	0	240
高校・大学他	82	0	0	0	0	13	0	61	2	0	0	0	158
社会教育団体	130	11	0	506	280	0	0	0	407	0	150	0	1,484
福祉関係団体	0	55	0	45	140	1,010	0	0	440	0	0	0	1,690
地域団体	0	0	0	0	0	1,068	0	0	295	55	0	0	1,358
その他	119	135	187	264	63	11	111	325	65	15	100	25	1,420
計	1,304	2,295	1,454	4,449	2,544	3,490	3,586	1,821	3,882	1,070	3,017	1,892	30,804

月別16ミリフィルム団体別貸出件数

団体別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
官公署	1	1	1	1	1	1	1	2	1	0	2	4[1]	16
図書館	4	1	1	4	6	1	2	1	8	2	2	3	35
幼稚園	1	4	2	6	4	2	1	2	5	2	8	2	39
保育園	0	0	2	2	1	1	1	1	1	0	2	3	14
児童館	10	11	8	10	6[3]	11	12	9	9	7	8	8	109
小学校	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
中学校	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
高校・大学他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
社会教育団体	1	1	0	3	2	0	0	0	1	0	1	0	9
福祉関係団体	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
地域団体	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	4
その他	0	2	3[1]	3	0	0	1	1	1	0	1	0	12
計	17	23	17	30	21	18	19	17	28	12	24	20	246

[]内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

月別16ミリフィルム団体別貸出本数

団体別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
官公署	1	1	1	1	1	1	25	2	1	0	2	7[1]	43
図書館	8	1	2	6	11	1	2	3	16	2	4	4	60
幼稚園	6	9	5	19	11	6	2	6	9	4	16	5	98
保育園	0	0	7	5	3	3	2	3	3	0	5	6	37
児童館	20	25	18	31	11[4]	25	21	19	20	18	16	17	241
小学校	0	11	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	13
中学校	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
高校・大学他	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
社会教育団体	3	3	0	9	8	0	0	0	4	0	3	0	30
福祉関係団体	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	5
地域団体	0	0	0	0	0	4	0	0	5	3	0	0	12
その他	0	5	9[1]	8	0	0	3	1	1	0	3	0	30
計	38	55	42	81	49	41	56	36	59	27	49	39	572

[]内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

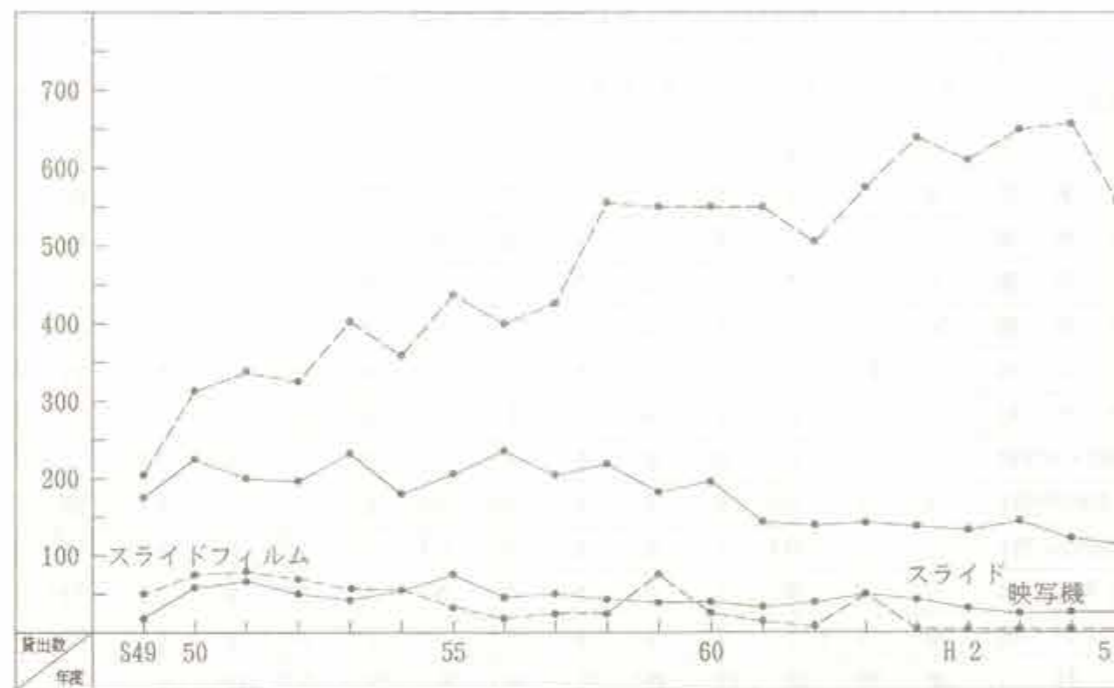
年度別視聴覚教材・機材保有数及び貸出数

(上段は利用数、下段は保有数)

教材・機材	年度															
	49	50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2	3	4	5
16ミリフィルム	205	313	438	406	435	572	556	556	554	518	585	648	619	651	666	572
	94	122	194	207	218	234	244	256	274	291	315	333	359	383	396	417
16ミリ映写機	187	225	218	234	219	223	185	195	146	140	141	139	137	143	116	81
	5	6	8	8	8	9	9	10	10	10	10	10	10	13	13	13
スライドフィルム	42	86	32	19	25	25	72	27	20	17	45	7	7	1	6	5
		261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261
スライド映写機	26	64	69	39	40	39	40	39	24	37	49	41	30	23	27	25
	4	4	4	4	4	4	7	7	7	7	8	7	7	7	7	7
ビデオテープ															41	76
															152	152
オーバーヘッド プロジェクター	10	6	3	1	10	12	21	19	8	14	15	8	8	10	63	10
	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3

○ビデオテープは平成4年度より貸出開始。 []内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

年度別主要視聴覚教材・機材貸出数の推移



X 将来計画と新中央図書館構想

調布市立図書館は開館以来、図書資料の提供を中心に市民生活の中に根をおろし、生涯学習をはじめ、様々な文化活動の場として定着してきました。現在、中央図書館の狭隘化による様々な問題を解決するため、平成7年10月開館を目的に建設が進められている総合文化施設「文化会館たづくり」の一環として新中央図書館が構想されています。

その間に、職員により新中央館計画委員会、新中央館準備委員会をもち、新中央館オープンへの準備をすすめてきました。また、今年度は奉仕体制検討委員会ももち、それぞれのサービスの現状と課題、施策などについてまとめをし、新中央館開館にむけて、分館も含めサービスのあり方について検討を重ねています。

新中央図書館は、40万冊の蔵書を持ち地域の図書館として機能すると同時に、市内10ヶ所の分館を有機的に結び、サービスや、資料の管理、調査・研究等図書館システムの総合的な調整機能を持たせていきます。

また、各種の情報資料やコンピュータによる各種データベースの活用等、新しいメディアによる多様な情報提供サービスを展開し、市民の情報センターとしての役割を果たしていきます。

新中央図書館のサービス

文化会館たづくりの中に入る中央図書館のサービスは、これまで行なってきたサービスを更に拡充し、発展させていきます。具体的にあげると以下のとおりです。

資料提供サービス

一般室に10万冊の資料を揃え、自由に手に取ることができます。現在のように離れた場所からの取り寄せが少なくなり、お求めの本がすぐに借りられます。また、調布の図書館にないものは、相互貸借の制度を利用して、他の図書館から借りて提供します。

資料相談サービス

専用の相談カウンターを設け、利用者からの様々な相談にお応えします。また、参考図書室には約2万冊の辞書・事典、年鑑、白書、地域資料等、調べものに必要な資料を備えてあり、お気軽にご利用いただけます。

児童サービス

2万冊の資料を揃えて専任の児童担当職員が、子どもたちへのサービスを行います。同時に、これまでと同様に地域への様々な働きかけを行っています。また、こども室と隣接しておはなし室を設けて、いつでもおはなしの時間が持てるよう設計されています。

ハンディキャップサービス

録音図書、点訳図書等を中心にサービスをすすめ、利用者の要求に対し、きめ細かな対応をしていき、誰でも通常の図書館利用と同様のサービスが受けられるよう配慮しています。

新中央図書館 各階の概要

[図書館部分は、4階から6階までです。]

4階 1,300㎡

(1) 一般室 (5万冊収容)

図書(一般書)、新聞、雑誌等からなる開架スペースのほか、資料検索コーナーや資料のコピーサービスなどで構成され、豊富な資料による閲覧、貸出、相談などのサービスを行います。

(2) こども室 (2万冊収容)

図書(児童書)、紙芝居、雑誌等を中心に、幼児から中学生までを対象とした資料を揃え、子どもに対する徹底したサービスを行います。

また、こども室の一隅には、「おはなし室」があり毎月定期的に「おはなし会」を行います。

5階 1,300㎡

(1) 一般室 (5万冊収容)

一般室は、4階と5階に図書(一般書)をそれぞれの分野で振り分けて備えます。

(2) 参考図書室 (2万冊収容)

辞書・事典等の参考図書、新聞縮刷版、全国の電話帳、郷土・行政資料、地図等の資料を備え、調査・研究のためのスペースとして用意しています。

(3) 映画資料室 (1万冊収容)

東洋のハリウッドと言われた調布にふさわしい地域資料のコレクションとして、日本映画関係の図書、雑誌等を中心に収集していきます。

6階 1,300㎡

(1) ハンディキャップサービス

目の不自由な方を中心に、図書館利用に障害のある方々に対して、通常の図書館サービスが受けられるよう、様々な工夫をして対応します。ここには主に、録音図書、点訳図書等の資料を備え、同時に対面朗読等も行います。

(2) 自習室

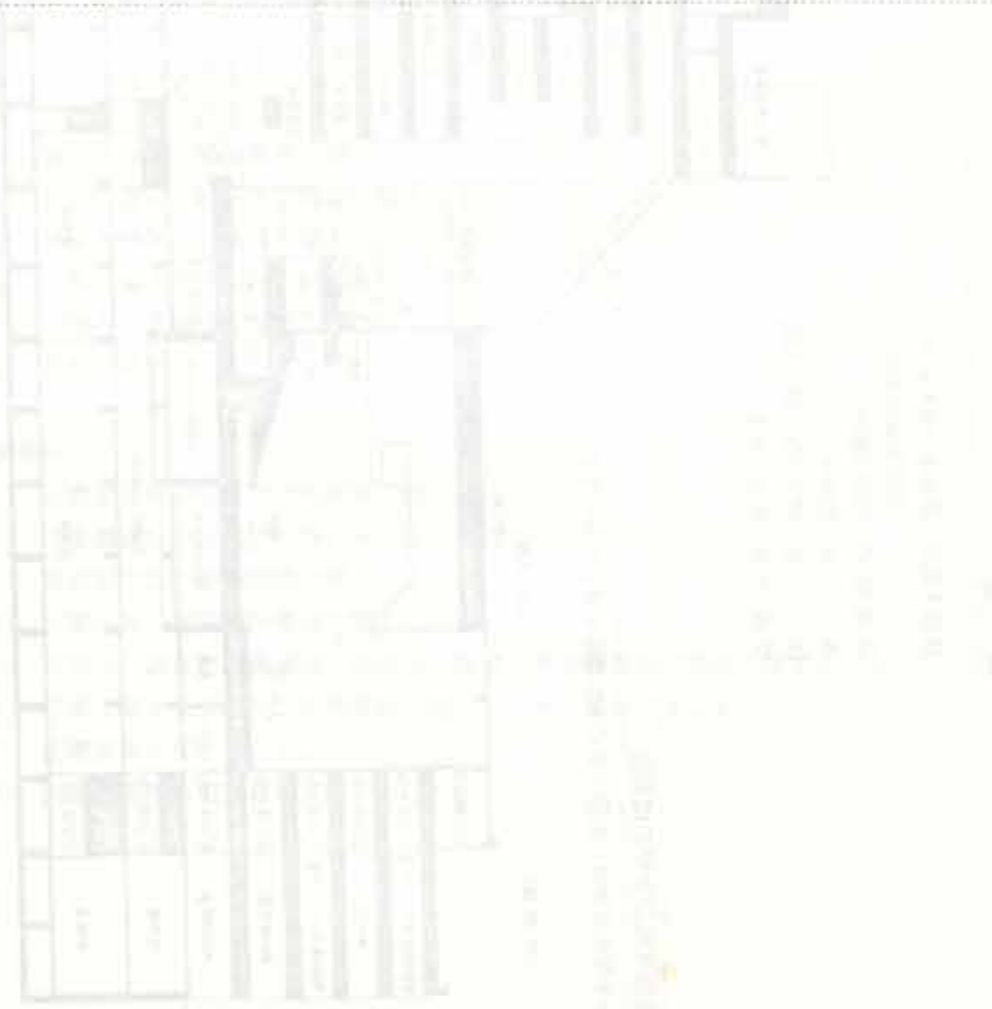
図書館資料は備えていませんが、学習専用のスペースとして100席以上の座席を用意しています。

(3) 社会人学習室

自習室とは区別し、社会人専用の学習室を設けています。

(4) 展示コーナー

図書館からの情報提供の場として各種の展示・催し等に活用します。

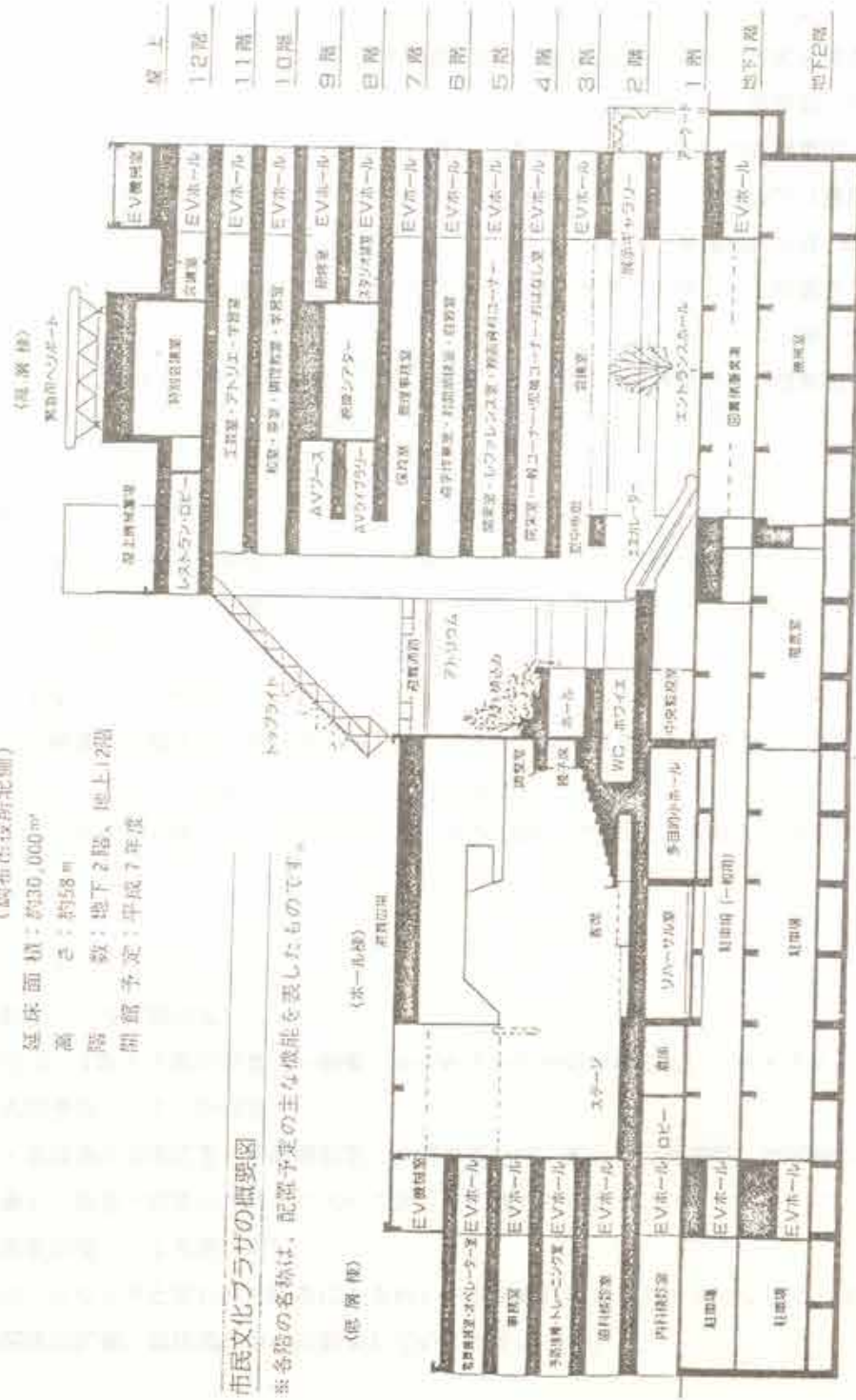


概要

建設予定地：調布市小島町2-33-1
 (調布市役所北側)
 延床面積：約30,000㎡
 高さ：約58m
 階数：地下2階、地上12階
 開館予定：平成7年度

市民文化プラザの概要図

※各階の名称は、配置予定の主な機能を表したものです。



XI 資料

1 運営組織

調布市立図書館の運営は、次に掲げる調布市の条例・規則によって定められている。さらに、条例等に基づいて、規程や要綱が設けられており、日常の図書館活動を管理、運営している。

- (1) 調布市立図書館設置条例(昭和41年条例第10号)
- (2) 調布市立図書館館則(平成元年教育委員会規則第5号)
- (3) 調布市立図書館処務規程(平成元年教育委員会訓令第3号)
- (4) 調布市視聴覚ライブラリー設置規則(平成元年教育委員会規則第4号)
- (5) 調布市図書館ライブラリー運営要綱(昭和41年11月1日教育委員会要綱)
- (6) 調布市立図書館録音テープ図書貸出要綱(昭和56年7月25日教育委員会要綱第3号)
- (7) 調布市立図書館集会室使用基準(昭和57年9月1日制定)
- (8) 調布市立図書館協力員に関する内規(平成3年4月1日制定)

2 分掌事務

庶務係

- (1) 公印の保管に関する事。
- (2) 文書の收受、発送に関する事。
- (3) 施設、設備の維持管理に関する事。
- (4) 企画、運営、統計及び調査に関する事。
- (5) 関係各機関との連絡に関する事。
- (6) 予算の編成及び執行に関する事。
- (7) 本館内の取締りに関する事。
- (8) 庶務に関する事。

図書係

- (1) 図書館資料の収集及び利用等に関する事。
- (2) 図書館資料の分類排列等に関する事。
- (3) 読書案内及び読書相談に関する事。
- (4) 文庫活動の援助及び育成に関する事。
- (5) 読書会、研究会、講演会、映写会、鑑賞会等の開催及び奨励に関する事。
- (6) 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。
- (7) 図書室等に関する事。
- (8) 図書館資料の相互貸借に関する事。

3 開館日と休館日

館 別	開 館 時 間	休 館 日
中 央 館	日・水・木・金曜日 10時00分～17時30分	月曜日
	火・土曜日 10時00分～19時00分	
分 館	火～日曜日 10時00分～17時00分	第3日曜日
	(つつじヶ丘分館は、13時00分～17時00分)	第4金曜日

・休館日はこのほかに、国民の祝日（この日が月曜日の場合は翌日）
 年末年始
 臨時休館（その都度お知らせする）

4 開館日数

館	月	4	5	6	7	8	9
開館日数	中・染・佐	23	22	23	25	24	22
	国・宮・若	23	22	15	25	24	22
	つ・緑	15	22	23	25	24	12
	深・神・富	23	22	23	13	24	22
合 計		237	242	229	239	264	222

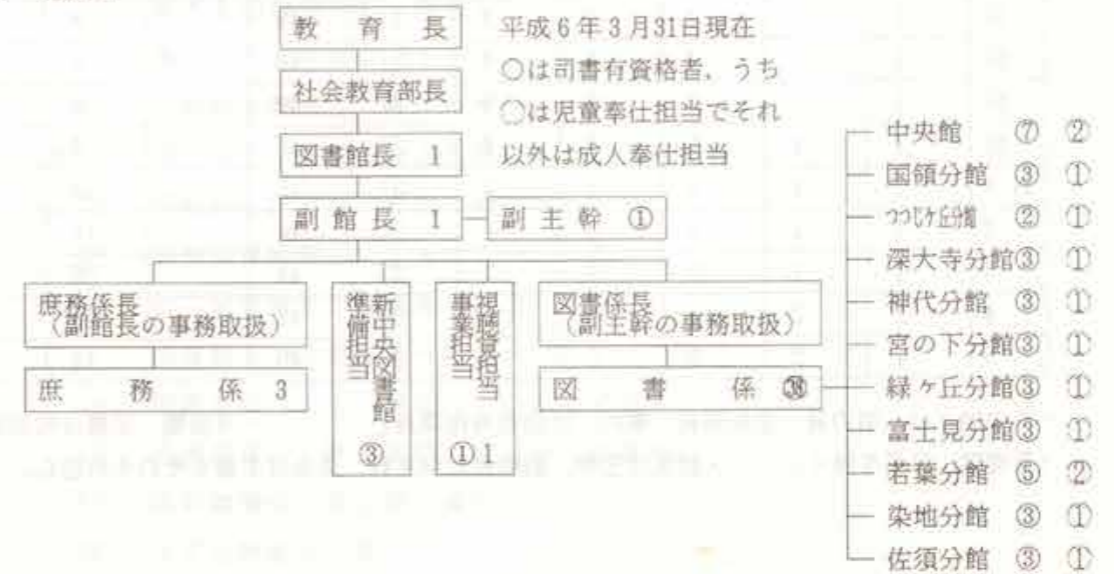
	10	11	12	1	2	3	合 計
	24	21	22	20	21	24	271
	24	21	22	20	21	24	263
	24	21	22	20	21	24	253
	24	21	22	20	21	24	259
	264	231	242	220	231	264	2,885

5 開館時間

館	月	4	5	6	7	8	9
開館時間	中	173	166	174.5	188.5	181.5	166
	国・宮・若	109.5	110.5	75	120	116	105.5
	つ	60	88	92	100	96	48
	深・神・富	109.5	110.5	109.5	62	116	105.5
	緑	72.5	110.5	109.5	120	116	58
	染・佐	109.5	110.5	109.5	120	116	105.5
合 計		1,181.5	1,248.5	1,148.5	1,194.5	1,321.5	1,116

	10	11	12	1	2	3	合 計
	181.5	168	177	159	169.5	192	2,096.5
	116	138	154	140	147	168	1,499.5
	96	84	88	80	84	96	1,012
	116	138	154	140	147	168	1,476
	116	138	154	140	147	168	1,449.5
	116	138	154	140	147	168	1,534
	1,321.5	1,494	1,651	1,499	1,576.5	1,800	16,552.5

6 組織図



7 年度別職員数の推移

年度	館長	副館長	係長	事務職	中央館司書	分館司書	小計	名誉館長	その他	合計
S41	兼 1			2	2		5	1	1	7
42	1			2	4		7	1	1	9
43	1		1	2	4		8	1	2	11
44	1		2	2	4	2	11	1	2	14
45	1		2	2	4	4	13	1	2	16
46	1		1	2	4	8	16	1	2	19
47	1		1	4	5	10	21	1	3	25
48	1		1	4	6	10	22	1	4	27
49	1		1	5	5	18	30	1	6	37
50	1	1	1	6	5	20	34	1	8	43
51	1	1	1	6	6	20	35	1	7	43
52	1	1	2	5	6	22	37	1	6	44
53	1	1	2	5	6	23	38	1	8	47
54	1		2	5	6	24	38	1	8	47
55	1		2	5	6	27	41	1	8	50
56	1		2	5	6	27	41	1	7	49
57	1		3	3	7	30	44	1	7	52
58	1		3	3	7	31	45		8	53
59	1		3	3	7	31	45		8	53
60	1		3	3	8	31	46		8	54
61	1		3	3	8	31	46		8	54
62	1	1	2	3	8	31	46		8	54
63	1	1	1	3	8	31	45		9	54
H 1	1	1	2	3	8	31	46		15	61
2	1	1	2	3	8	31	46		15	61
3	1	1	5	3	7	31	48		29	77
4	2	2	4	4	6	30	48		30	79
5	1	2	6	5	5	30	49		43	92

・その他とは、協力員、委託要員、嘱託、社会教育指導員。 ・事務職、司書は担当別人数
 (管理職、係長を除く) ・館長は主幹、副館長は副主幹、係長は主査をそれぞれ含む。

XII 年表

平成5年度のあゆみ

- 4/ 1 協力員26人委嘱
- 9 朗読・点訳ボランティア登録会
- 17 協力員1人委嘱
- 5/12 初級朗読者養成講座(延15回)～9/22
- 15 時局講演会(進藤 榮一氏)
- 28 名画鑑賞会「四万十川」
- 6/ 5 16ミリ映写機操作講習会～ 6/ 6
- 協力員1人委嘱
- 10 国立国会図書館、多摩市立図書館を視察
- 世田谷区立中央図書館より視察
- 11 日野・立川市立図書館を視察
- 17 16ミリ映写機の検定～ 6/ 19
- 26 座談会(岡 百合子氏)
- 7/ 1 文芸座談会 (田中 亮吉氏)
- 7 木島平村に寄贈本を送る
- 17 著者を囲む会(司 修氏)
- 21 夏の子ども映画会「11びきのねこ」
- 28 平和祈念映画会「きけわだつみの声」
- 8/ 6 狛江市立中央図書館より視察
- 19 平和祈念講演会(野田 真里氏)
- 29 森林図書館開催(TAMAらいふ21)
- 9/ 1 秋の図書館まつり開催～10/11
- 図書館まつりポスター展～ 9/18
- 9 朗読の会(山本 學氏、江口ふじ子氏)
- 10 名画鑑賞会「新・喜びも悲しみも幾歳月」
- 11 時局講演会(足立原 貫氏)
- 18 子ども映画会「夏のページ」
- 21 俳句・短歌展～10/ 9
- 22 著者を囲む会「山田 太一氏」
- 日本画展～10/11

- 26 三多摩歌会(片山 貞美氏, 来嶋 靖生氏, 宮地 伸一氏)
- 29 文化講演会と朗読(栗田 勇氏, 八木 光生氏)
- 30 児童文学講演会(宮川 ひろ氏)
- 10/ 3 人形劇公演(人形劇団 ひばりあむ)
- 5 文芸落語(桂 竹丸氏, 杉山 義法氏)
- 8 三多摩句会(青柳 志解樹氏, 黒田 杏子氏, 澤木 欣一氏, 上田 五千石氏, 鷹羽 狩行氏, 星野 麥丘人氏, 渡辺 恭子氏)
- 20 名画鑑賞会「彼岸花」
- 11/ 2 協力員 8 人委嘱
- 6 中央館, 分館10時開館(つつじヶ丘分館を除く)
- 12 茅室町図書館より視察
- 18 子どもの本に親しむ会(関口 展氏)
- 27 時局講演会(佐藤 藤三郎氏)
- 12/11 文芸講演会(村上 護氏)
- 14 名画鑑賞会「新・夫婦善哉」
- 1/17 座談会(田嶋 義文氏)
- 21 刈谷市中央図書館より視察
- 29 水木しげる原画展
- 2/ 1 第22回図書館まつり開催~ 2/28
- 座談会(串田 孫一氏)
- 筆跡・横顔展~ 2/14
- 2 名画鑑賞会「父よ母よ!」
- 4 文芸講演会(三浦 哲郎氏)
- 12 文化講演会(山田 幸男氏)
- 13 人形劇公演(人形劇団 れもん座)
- 15 俳句・短歌展~ 2/27
- 16 日本画展~ 2/28
- 18 朗読の会(池田 一臣氏, 塩谷 洋子氏)
- 19 時局講演会(辻井 博氏)
- 20 子ども映画会「ぞうのパパー」
- 22 児童文学講演会(五味 太郎氏)
- 24 第22回市民句会(青柳 志解樹氏, 澤木 欣一氏, 星野 麥丘人氏)
- 26 著者を囲む会(加藤 幸子氏)

- 27 第21回市民歌会(片山 貞美氏, 来嶋 靖生氏, 宮地 伸一氏)
- 3/15 協力員 2 人委嘱
- 17 名画鑑賞会「本日休診」
- 18 豊田市立図書館より視察
- 26 時局講演会(土本 典昭氏)



カットは『プチ・ニコラとゆかいな仲間』より
ゴシニー作 サンベ絵 ささもとたかし訳 藤森書店

平成5年度版

数字で見る図書館活動

平成6年10月30日 発行

編集・発行

調布市立図書館

数字で見る図書館活動編集委員会

〒182 調布市布田4-17-5

電話 0424(81)7661



